

第1回 次期札幌市観光まちづくりプラン 検討委員会

参考資料① 現状分析

【注】

本資料は作成途中であり、今後、記載内容の修正、情報の更新を行う可能性があるのであらかじめご了承ください。

目次

I 札幌観光を取り巻く情勢

1. 人口動態	4
2. 観光市場の動向	5
3. 観光産業の動向	8
4. 旅行者の動態	9
5. 情報化	13
6. 都市・インフラ開発	14
7. 国際大会・会議	18
8. 持続可能な観光	21
9. 自然災害・気候変動・感染症等のリスク	23
10. 国・北海道等の取り組み	25

II 札幌観光の現状①（観光統計）

1. 来札観光客数	29
2. 観光消費額	35
3. MICE	36
4. イベント	37
5. 観光客満足度	38
6. リピーター率、再訪意欲	39

III 札幌観光の現状②（観光インフラ）

1. 宿泊環境	42
2. 交通インフラ	44
3. 観光客受入環境	47
4. 情報発信	50

IV 札幌観光の現状③（都市の魅力・観光資源）

1. 都市ブランド	53
2. 自然・都市環境	54
3. 観光資源	55

札幌観光を取り巻く情勢

I 札幌観光を取り巻く情勢

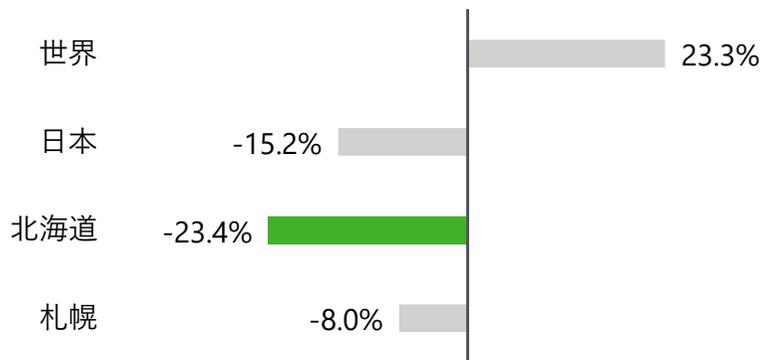
1. 人口動態

将来人口

国内人口は減少傾向、特に北海道の人口減少率は高い

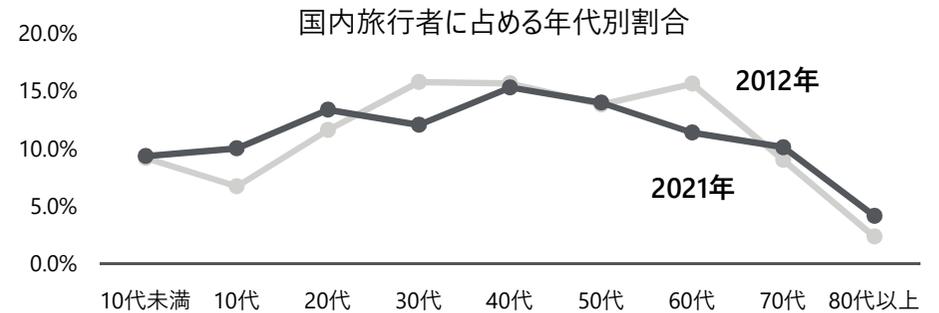
- 世界の人口は鈍化が見込まれるが2100年頃までは成長が見込まれます。
- 一方で、国内人口は少子高齢化が加速しており、既に人口減少段階に突入しています。国内人口は、2021年10月時点で約1億2,550万となっており、2030年には約1億1,913万人になると推計されています。
- 北海道の人口は、2030年には約479万人（2021年10月時点で約512万人）となり、全国よりも早いペースで人口減少が進むと推計されています。

人口増加率（2021年-2045年比世界人口は2050年比）

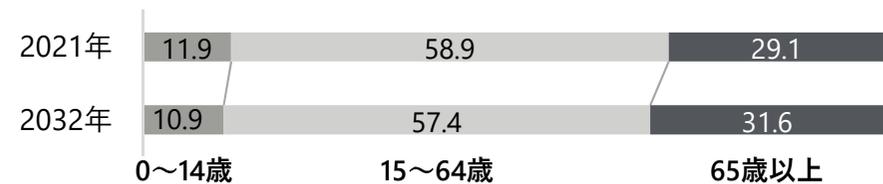


70代以上の観光旅行参加者は減少するため少子高齢化の影響は大きい

- 国内旅行者に70代以上の割合は少なく、少子高齢化が進むと、国内旅行者数減少の影響はさらに大きいものになると考えられます。



人口構成比 (%)



出典：①国立社会保障・人口問題研究所「将来推計人口」出生中位（死亡中位）推計
出典：②令和3年住民基本台帳人口・世帯数(令和3年1月1日現在)
出典：③世界人口推計2019年版

出典：①観光庁「旅行・観光消費動向調査」(観光・レクリエーション)
出典：②国立社会保障・人口問題研究所「将来推計人口」出生中位（死亡中位）推計

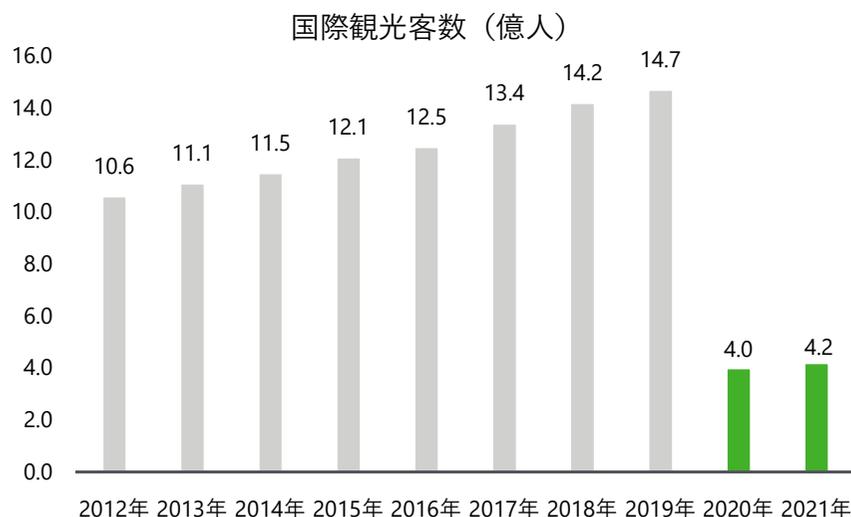
1 札幌観光を取り巻く情勢

2. 観光市場の動向

世界の観光市場

世界観光市場は成長していたがコロナで大幅に縮小。低迷が続く

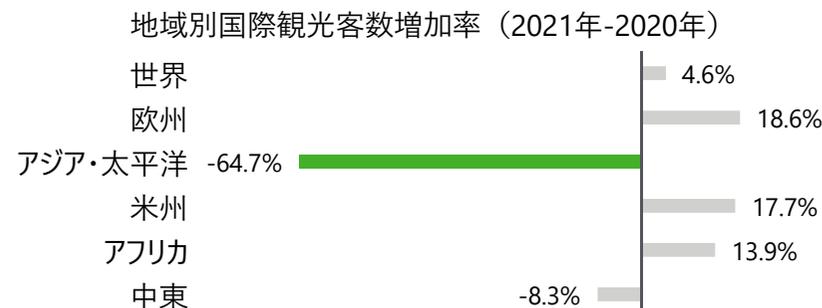
- UNWTO（国連世界観光機関）によると、国際観光客数は2000年以降、一貫して増加しており、2019年は過去最大の14.7億人となりました。
- 国際観光客のうち、中国は約1.5億人、ドイツや米国、香港、英国が約1億人前後となっています。
- しかし、2020年以降は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う渡航制限等による旅行需要の大幅な減少により低迷が続いています。



出典：UNWTO「Tourism Highlights,2015 Edition」

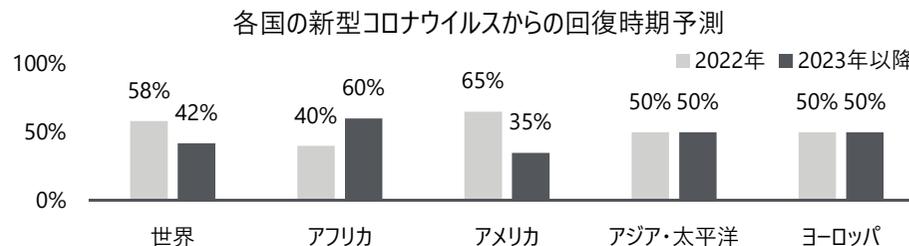
アジアはコロナ禍の影響が長期化

- 2021年にはやや国際観光客数が回復していますが、厳しい渡航制限措置をとったアジア・太平洋では2020年よりも減少しており、コロナ禍の影響が長期化しています。



世界各国は2022-2023年後の観光需要回復を予測

- UNWTOが各国に実施したアンケートでは、世界全体では2022年には観光需要が回復するとの予測が多くなっています。



出典：①観光庁「観光白書」
出典：②JNTO「訪日外客数」

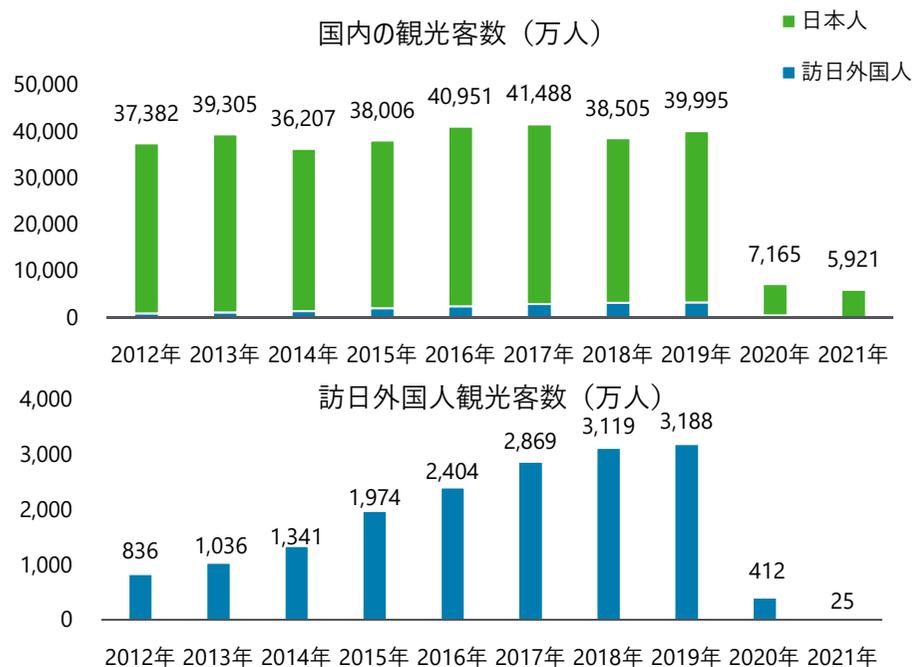
1 札幌観光を取り巻く情勢

2. 観光市場の動向

国内の観光市場

日本人国内観光客数は横ばいの中、訪日外国人が増加

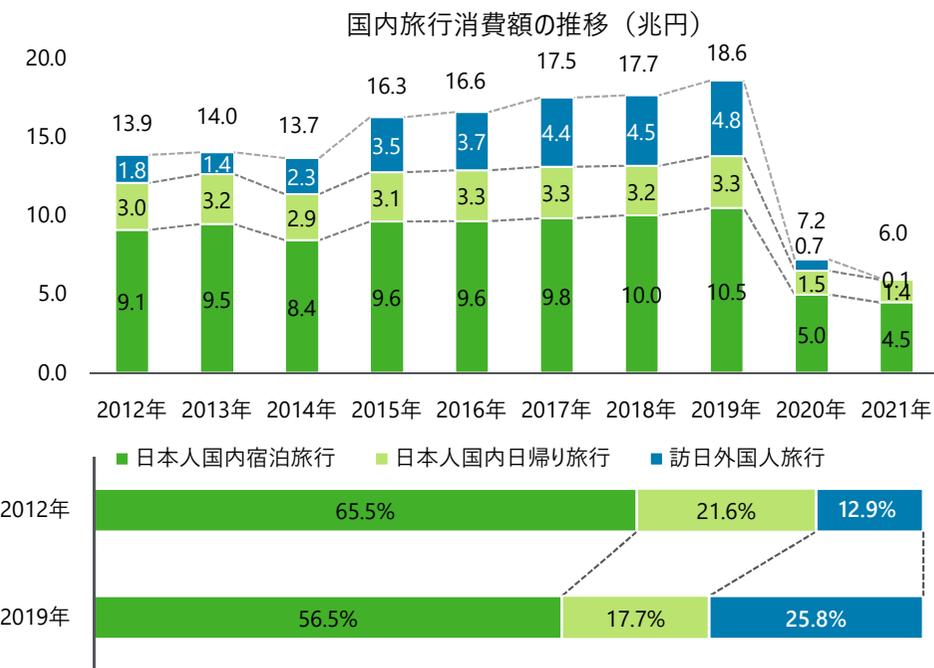
- コロナ以前は、日本人の国内観光客数は横ばいである一方で、訪日外国人観光客数は年々増加しており、2019年には過去最高となる3,188万人（2012年は836万人）でした。
- しかし、世界の観光市場と同様、2020年以降は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う旅行需要の大幅な減少により低迷が続いています。



出典：①観光庁「旅行・観光消費動向調査」（観光・レクリエーション）
 出典：②JNTO「訪日外客数」

国内観光市場も拡大、訪日外国人の旅行消費額が牽引

- コロナ以前、国内観光市場は訪日外国人の消費額増加が牽引して年々伸長していました。
- 訪日外国人の観光消費単価は日本人よりも高く、2019年時点では、国内旅行市場の約25.8%を占めていました。国内観光市場における訪日外国人の重要性は高まっています。



出典：①観光庁「旅行・観光消費動向調査」（観光・レクリエーション）
 出典：②観光庁「訪日外国人消費動向調査」（観光・レクリエーション）

札幌観光を取り巻く情勢

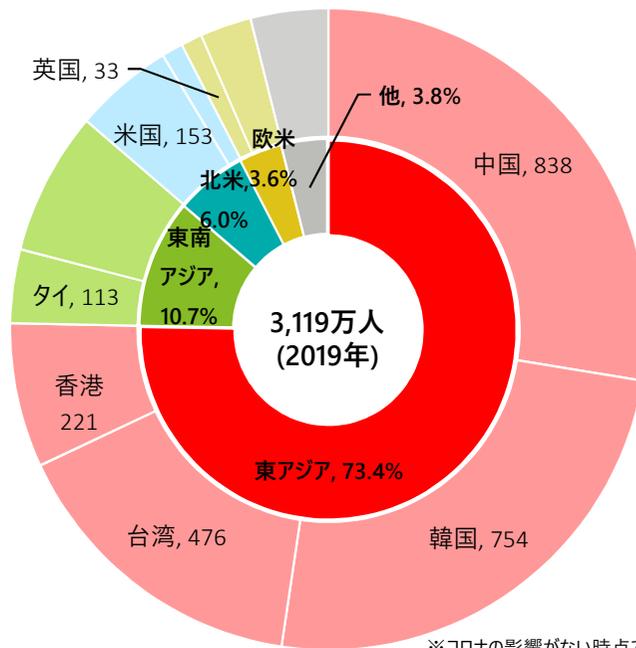
2. 観光市場の動向

国内の観光市場

訪日外国人の約7割は東アジア。そのためコロナ禍の影響も大きい

- 訪日外国人は、東アジアが圧倒的に多く、2019年では訪日外国人の約73.4%を占めていました。
- コロナ禍では、アジアが厳しい渡航制限措置をとっており市場が回復していないため、国内観光市場にも引き続き大きな影響を与えています。

訪日外国人の地域・国別構成割合（2019年）

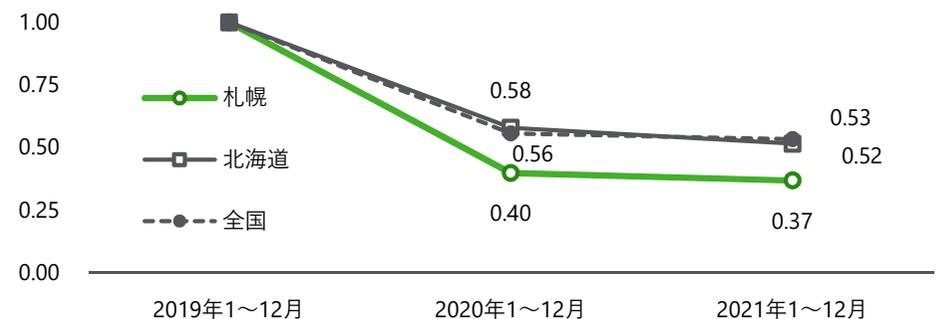


出典：JNTO「訪日外客数」

コロナ禍の影響は長期化、札幌市は全国よりも影響が大きい

- コロナ禍の影響は長期化しており、2019年（1～12月）の宿泊者数を基準に考えると、2021年は半分程度の回復に留まっています。
- 札幌市は、宿泊者数の観点では、全国および北海道よりも大きくなっています。

宿泊客数比（基準年2019年1～12月）



出典：①観光庁「宿泊旅行統計調査」
出典：②札幌市「札幌の観光」

I 札幌観光を取り巻く情勢

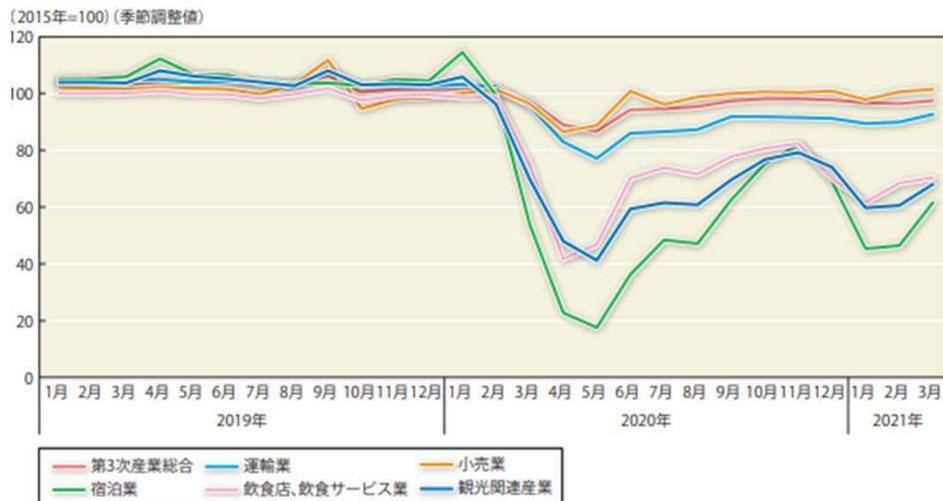
3. 観光産業の動向

コロナ禍による影響

観光関連事業者の経営体力の低下

- 経済産業省「第3次産業活動指数」によると、宿泊業や観光関連産業の落ち込みが大きくなっています。
- コロナ禍は影響が長期化していることで、観光関連事業者の経営体力の低下が懸念されます。

〔第3次産業活動指数〕



出典：観光庁「観光白書令和3年度版」

労働力の確保

「旅館・ホテル」業界では、全国的に人手不足が続く

- 帝国データバンク「人手不足に対する企業の動向調査(2022年4月)」によれば、正社員の人手不足感は「コロナ禍前」の水準に迫っており、非正社員についても、正社員の傾向と同様に前年同月から大幅に上昇しています。
- 業種別では、コロナ禍前まではインバウンド需要によって好調だった「旅館・ホテル」は、2年前の2020年4月には1回目の緊急事態宣言によって大きな打撃を受け、その時点の人手不足割合は大きく減少したものの、直近では正社員で51業種中9番目に高く、非正社員では2番目となり、再び多くの企業が人手不足を感じている傾向が表れました。

正社員の人手不足割合（上位10業種） (%)

	2020年4月	2021年4月	2022年4月
1 情報サービス	44.6	54.1	64.6
2 メンテナンス・整備・検査	46.5	55.6	60.1
3 建設	48.2	54.5	59.4
4 自動車・同部品小売	33.0	50.0	58.4
5 人材派遣・紹介	26.9	37.1	58.0
6 飲食店	14.3	27.6	56.9
7 農・林・水産	48.2	53.5	55.7
8 放送	40.0	46.7	55.6
9 旅館・ホテル	12.5	23.5	52.4
10 運輸・倉庫	41.1	42.3	52.2

非正社員の人手不足割合（上位10業種） (%)

	2020年4月	2021年4月	2022年4月
1 飲食店	16.4	50.0	77.3
2 旅館・ホテル	6.9	27.3	56.1
3 人材派遣・紹介	26.3	37.0	53.6
4 各種商品小売	55.3	45.2	52.3
5 飲食品小売	32.4	38.8	48.7
6 メンテナンス・整備・検査	35.2	42.8	43.9
7 農・林・水産	38.5	37.9	43.3
8 繊維・繊維製品・服飾品小売	28.1	17.9	42.9
9 娯楽サービス	23.6	33.3	42.6
10 教育サービス	25.0	46.2	41.7

出典：帝国データバンク「人手不足に対する企業の動向調査(2022年4月)」

札幌観光を取り巻く情勢

4. 旅行者の動態

旅行時期

日本人観光客は長期休暇時期に集中し、冬は少ない

- 日本人観光客は、GWや夏季休暇など長期休暇が取れる時期に観光をする傾向があります。
- 一方、1～2月は年間で最も観光が少ない時期となっています。

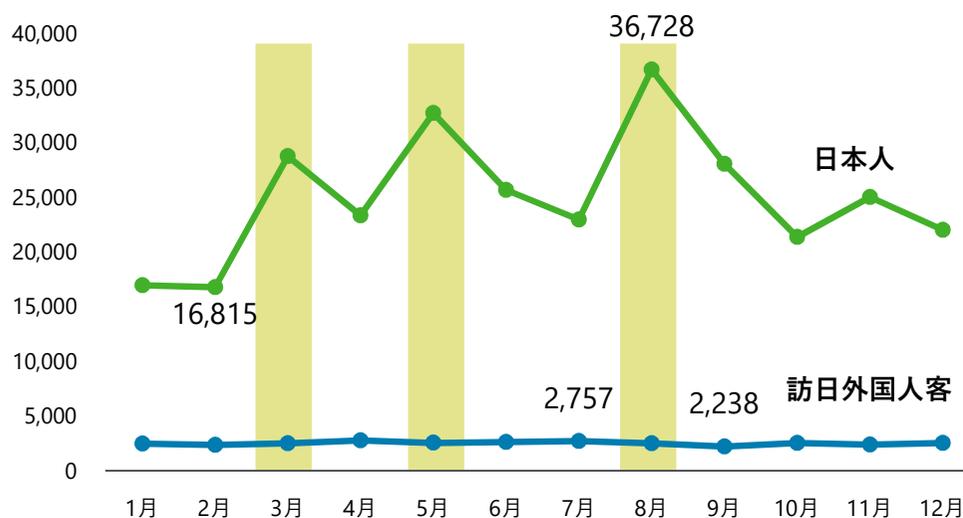
訪日外国人客は月ごとに大きな変動はない

- 訪日外国人は、7月が年間でも最も多く、9月が少なくなっていますが、月別の変動は小さく、毎月250万人程度の訪日外国人客がいます。

アジア観光客は月別の変動は小さい

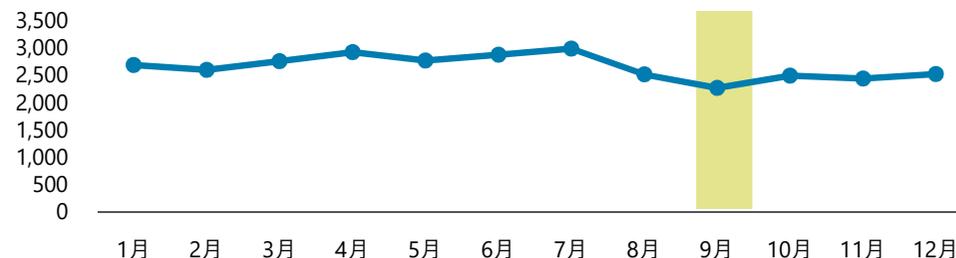
- 訪日外国人観光客の大半を占めるアジアは、9月がやや少ないですが、月別の変動は大きくありません。

月別観光客数※2017～2019年の平均（千人）



出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査」（観光・レクリエーション）※コロナの影響がない時点でのデータに基づき作成

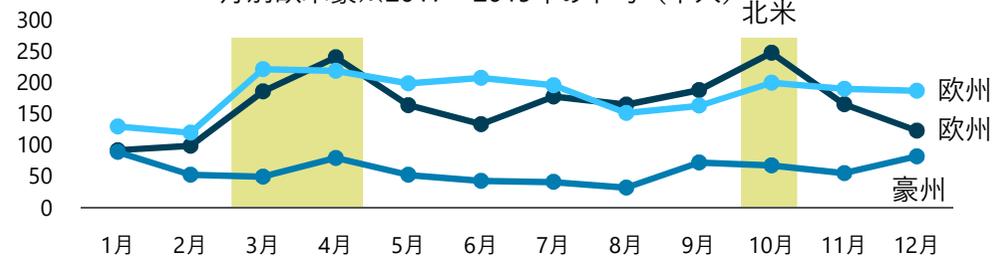
月別アジア※2017～2019年の平均（千人）



欧米豪の繁閑期は異なる

- 北米は、4月と10月が最も多くなっています。欧州は、桜時期の3月が最も多くなっています。豪州は、ウィンターシーズンの12～1月が最も多くなっています。

月別欧米豪※2017～2019年の平均（千人）



出典：JNTO「日本の観光統計データ」

※コロナの影響がない時点でのデータに基づき作成

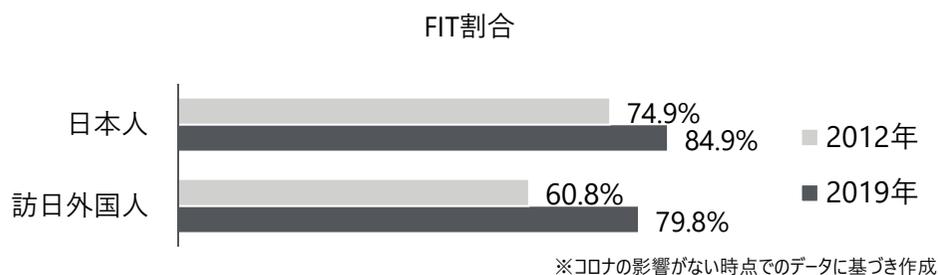
札幌観光を取り巻く情勢

4. 旅行者の動態

旅行形態

日本人・訪日外国人ともFIT化が進行

- 日本人、訪日外国人ともにFIT化が進んでいます。



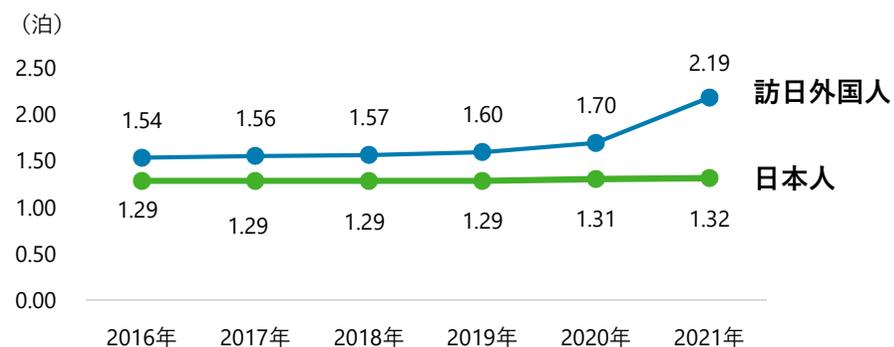
ワーケーション&レジャーの登場

- 働き方改革や新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、観光と仕事をセットで行うワーケーションやレジャーなど、「新たな旅のスタイル」が登場しました。

滞在日数

平均滞在日数は増加傾向

- 日本人、訪日外国人ともにやや増加傾向にあります。



出典：①観光庁「旅行・観光消費動向調査」（観光・レクリエーション）
出典：②観光庁「訪日外国人消費満足度調査」（観光・レジャー目的）

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」
平均滞在日数の算出方法：延べ宿泊者数／実宿泊者数

I 札幌観光を取り巻く情勢

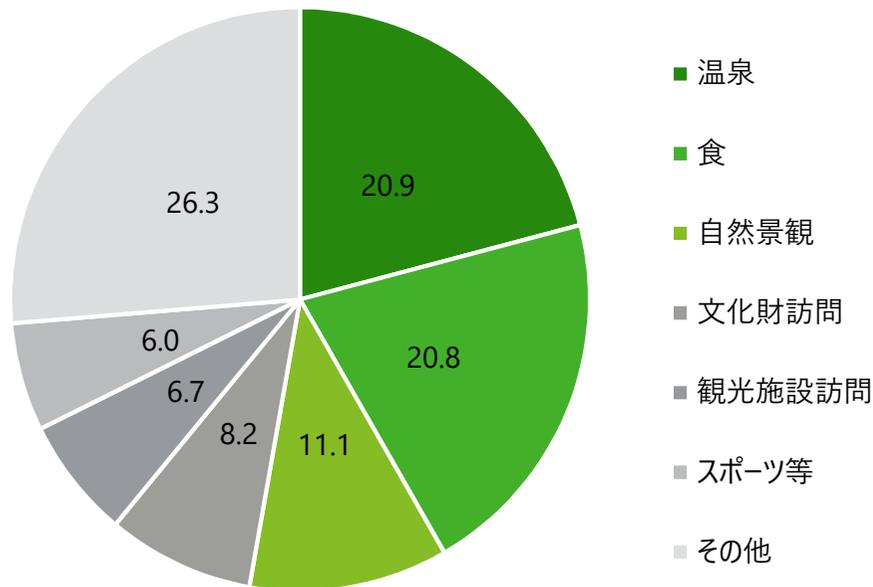
4. 旅行者の動態

旅行ニーズ

日本人観光客ニーズのトップ3は、温泉・食、自然景観

- 日本人観光客の旅行先で楽しみにしていることは、温泉・食・自然景観をみることの順となっています。
- コロナ禍の影響もあって、文化財や観光施設を訪れることは前年より割合が低下しています。

旅行先で最も楽しみにしていたこと (%)

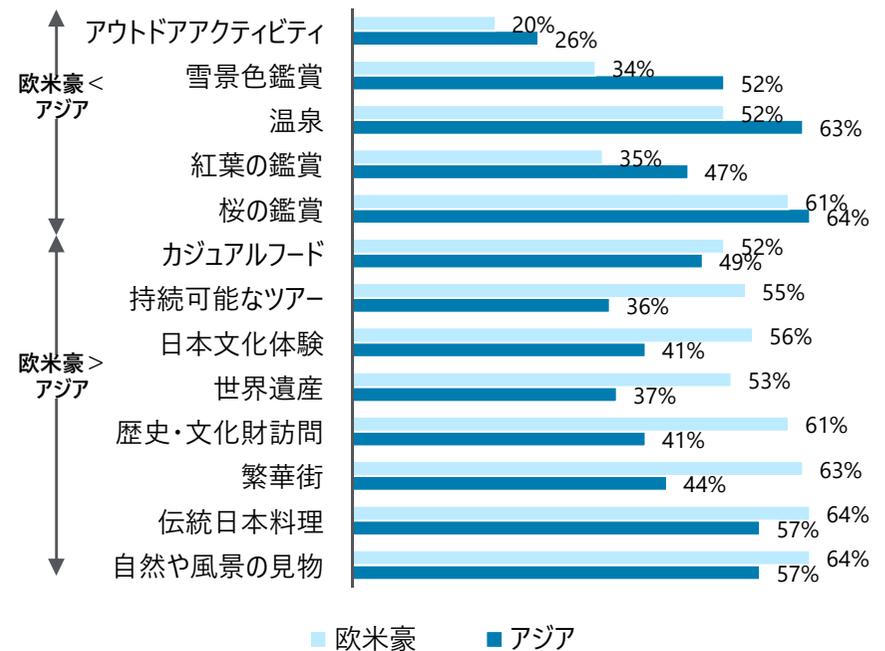


出典：日本交通公社「旅行年報2020」

訪日外国人観光客のニーズは温泉・食、自然景観がトップ3

- 訪日外国人は、日本人観光客と同様、温泉や食、自然景観のニーズがあります。
- 欧米豪は、ツアーや体験など、日本文化に触れるニーズが強くなっています。

訪日で体験したいこと



出典：JTB総合研究所「コロナ禍における日本人の国内旅行実態調査まとめ①～コロナ禍前後の旅行の比較～」

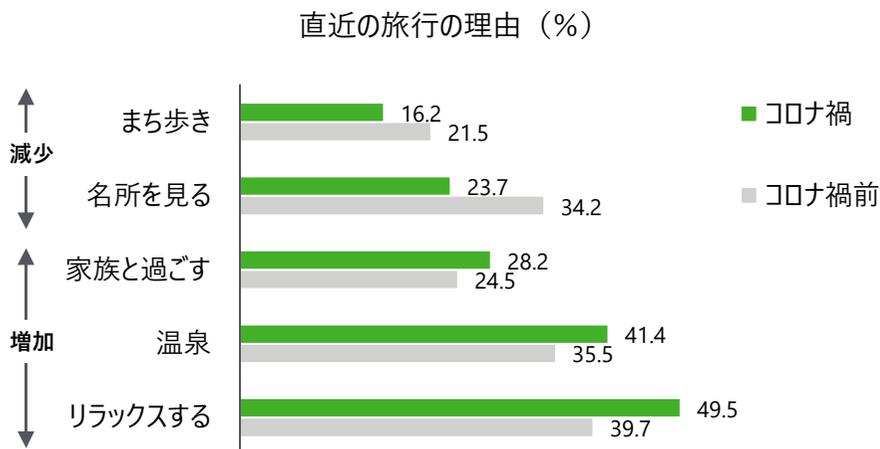
Ⅰ 札幌観光を取り巻く情勢

4. 旅行者の動態

コロナ禍を契機とするニーズ変化

密回避に伴う「近」「短」「身内でゆっくり」へのニーズ変化

- コロナ禍の旅行者は、居住地内での旅行の割合が高くなっており、特に、北海道でその傾向が強くなっています。
- また、2泊以上する割合が低くなり、短い旅行スタイルに変化しています。
- 旅行ニーズでは、リラックスすることや温泉、家族と楽しく過ごすことがコロナ禍前より高くなっています。
- さらには、観光地にリアルでは訪問しないオンラインツアーなど新しい旅行商品の造成も生まれております。



出典：JTB総合研究所「コロナ禍における日本人の国内旅行実態調査まとめ①～コロナ禍前後の旅行の比較～」

アドベンチャーツーリズム

欧米を中心として、アドベンチャーツーリズム/トラベル需要が拡大

- アドベンチャーツーリズム/トラベルとは、アクティビティ、自然、異文化体験の3要素のうち、2つ以上で構成される体験型の旅行形態の1つです（ATTAによる定義）。
- 外国人からの人気が高く、長期滞在が見込まれ、観光消費額も大きい点が特徴であり、自然・文化などの地域資源を活かせる重要な観光コンテンツとなります。

〔アドベンチャーツーリズム/トラベルの特徴〕

旅行者層	教育水準の高い 富裕層の割合が高い
滞在日数	平均14日間 と長期滞在の傾向
平均消費額	約33万円であり、 訪日外国人旅行者の平均の2倍以上
世界の市場規模	2016年は約49兆円→2023年には 約147兆円まで拡大予測 (観光庁による試算)

出典：日本アドベンチャーツーリズム協議会ホームページ

I 札幌観光を取り巻く情勢

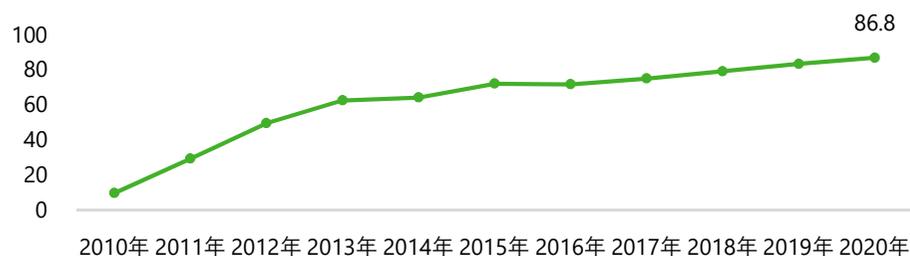
5. 情報化

デジタル化によるトレンド変化

「Z世代」がトレンドの中心となり、消費行動が変化

- 近年、情報通信機器が大きく普及し、2020年におけるスマートフォン世帯保有率は約90%となっています。「Z世代」（1990年半ばから2010年代生まれ）と呼ばれるデジタルネイティブな世代が新しいトレンドの中心となることで、マスメディア離れ、多様性の重視、SDGsへの関心など、今後の社会に価値観や消費行動の変革が想定されます。

スマートフォンの世帯普及率（%）



旅行のデジタル化が進む

- 旅行に関する情報発信やプロモーション、予約や決済などがデジタル化しています。各種PRはホームページのみならず、SNSやアプリ、動画サイトなど様々な手段で実施されています。
- また、技術革新およびコロナ禍によるニーズの変化から、旅行自体のデジタル化も始まっています。ARやVR技術を活用したバーチャルツアーや、メタバースと呼ばれるオンライン上の仮想空間での観光体験などが注目されています。

出典：総務省「通信利用動向調査」

観光DX

DXによって観光産業に変革が訪れる

- ビッグデータの活用による顧客の嗜好に合致した観光情報の提供や、インタラクティブなPR動画による情報提供から販売、決済までのシームレス化など、DXが収益向上に寄与しています。
- 観光業界においては人手不足が深刻な問題となる中、ロボットやAI技術を活用した受付・案内の無人化など、DXが業務効率化に寄与しています。

〔観光×テックに利用されている最新技術〕

技術名	特徴	活用事例
第五世代移動通信システム（5G）	多数同時接続、超高速、超低遅延	自動運転、観光地紹介アプリ ファンミーティング、オンラインツアー
Wi-Fi6	高速通信、多数同時接続	xR、デジタルサイネージ
IoT	モノの状況把握、遠隔操作	駐車場・トイレ等の空き情報表示
位置情報	人の所在地、密度の把握	混雑情報の提供、行動・購買履歴等と 組み合わせた販売促進活動
生体認証	身体や声等による本人確認	スマートキー、顧客別の情報提供
xR	CG等により実際と異なる体験を提供	バーチャルツアー、ナビゲーション
AI（人工知能）	人間の思考過程と同様な情報処理技術	チャットボット、パスのルート設定
ロボット技術	センサー、知的制御、駆動を備えた知能化した機械システム	受付・案内、掃除、運搬、調理その他に 特化したロボット
ビッグデータ	ウェブサイトやスマホ、各種センサーから 得られる大量情報の分析・活用	パーソナルサービス、混雑・渋滞予測
自動運転	人の操作に拠らない運転	移動のユニバーサル・サービス化

出典：日本総合研究所「観光DXの可能性」

札幌観光を取り巻く情勢

6. 都市・インフラ開発

都市再開発

都心部の再開発加速とハイグレードホテルの進出ラッシュ

〔札幌駅南口の再開発ビルにリオットの最上級ホテル入居予定〕

- 札幌駅南口(北5西1,2地区)の再開発ビルにつき2028年度の開業を予定しており、そのホテル部分についてJRグループが運営し、米ホテルチェーン大手マリオット・インターナショナルの最上級ホテルが、35～40階に約200室入居する予定となっています。2030年冬季五輪・パラリンピックの札幌招致も見据え、コロナ収束後の国内外の観光客誘致につなげることが期待されます。



出典：札幌市HP
https://www.city.sapporo.jp/kikaku/downtown/sapporo-eki/kita5nishi1-2_jumbikumiai.html

〔札幌駅南口の再開発ビルの高層階に宿泊施設入居予定〕

- 札幌駅南口(北4西3地区)の再開発事業として、道都札幌の玄関口のシンボルとなるビルの開発が進められており、新たな賑わいと魅力を創出する商業・業務・宿泊滞在機能を一体で整備する計画が進められています。



出典：平和不動産2022年4月6日付ニュースリリース
<https://moneyworld.jp/disci-pdf/tdnet/2022040651804301GENERAL.pdf>

〔北1西5地区の再開発ビルにハイアットセントリック入居予定〕

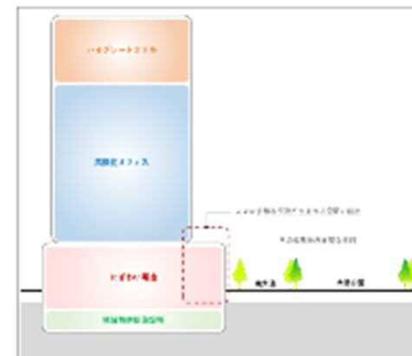
- NTT都市開発が札幌市中央区(北1西5地区)で開発を進めており、ホテル部分について、ハイアット ホテルズ コーポレーションの関連会社と運営委託契約を締結し、「ハイアット セントリック札幌」として2024年度春の開業を予定しています。1階の一部および17階～26階がホテル部分となる予定で、ホテル内には全216室の客室のほか、地元の食材を味わうことができるレストランや各種施設などを備える予定です。



出典：NTT都市開発HP
https://www.nttud.co.jp/sapporo_project/

〔大通西4街区の再開発ビルに高級ホテル入居予定〕

- 札幌駅前通と大通公園が交差する札幌市中央区大通西4街区の再開発として、「道銀ビルディング」及び「新大通ビルディング」を含む街区一体での再開発を検討しており、2028年中に高級ホテルやオフィスを併設した新ビルの開業を目指しています。



出典：平和不動産2022年3月24日付ニュースリリース
<https://moneyworld.jp/disci-pdf/tdnet/2022040651804301GENERAL.pdf>

I 札幌観光を取り巻く情勢

6. 都市・インフラ開発

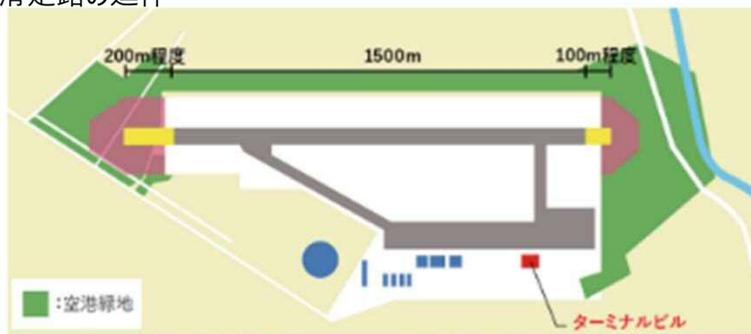
丘珠空港の利活用

丘珠空港の将来像（案）

- 札幌市は2022年6月に丘珠空港が進むべき方向性を取りまとめた「丘珠空港の将来像（案）」を公表しました。
- 道内航空ネットワークの拠点空港として、医療・防災機能を高めるとともに、道内路線を維持拡大し、ビジネスや医療従事、通院等、社会生活にとって重要な路線として、市民・道民の利便性向上を図ることや、一年を通して全国各地方との定期便の就航により、ビジネスや観光による交流人口を増やし、札幌・北海道の活力向上を図ることを掲げています。

〔取組内容〕

1. 滑走路の延伸



2. 空港運用時間の拡大

3. ターミナル機能の強化

4. 空港ターミナルビル内における商業施設等の拡充

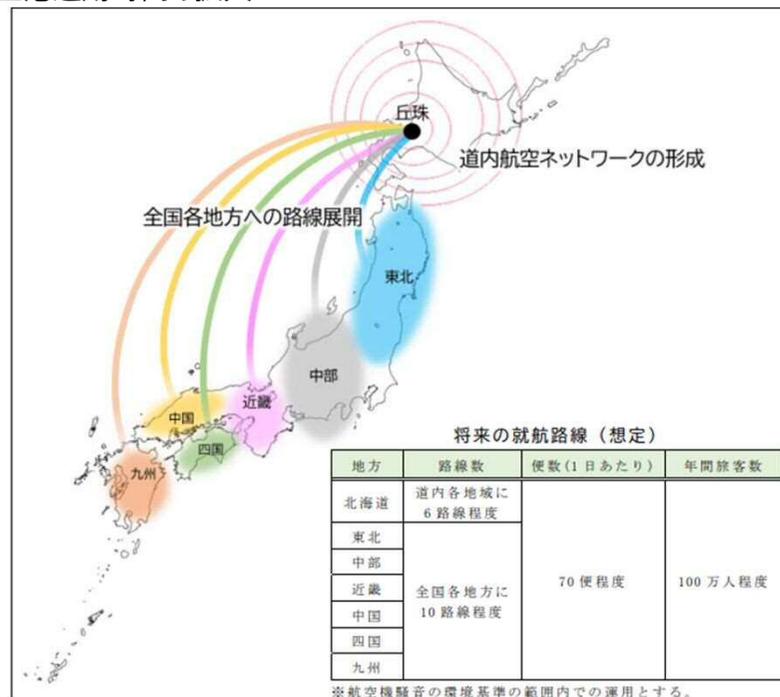
5. 空港アクセスの充実

6. 医療・防災機能の強化

7. 周辺地域との調和と共生

出典：札幌市「丘珠空港の将来像（案）」

7. 空港運用時間の拡大



札幌観光を取り巻く情勢

7. 国際大会・会議

2030年冬季オリンピック・パラリンピック

2030年冬季オリパラ札幌開催の可能性

- 札幌市は、SDGsの先の未来を展望する大会の実現を目指しています。
- オリンピック・パラリンピック合わせて3,000人以上のアスリートが参加が見込まれます。

大会ビジョン

札幌らしい持続可能なオリンピック・パラリンピックモデル
～人と地球と未来にやさしい大会で新たなレガシーを～

SDGsの先の未来（50年後・100年後）

	ターゲット (大会において目指すまちの姿)	レガシー (大会によってもたらされるもの)
スポーツ・健康	スポーツによる健康で 活力のある社会	健康寿命の延伸等
経済・まちづくり	世界に躍進する魅力 あふれるまちづくり	「世界に誇れるスノーリゾート・ 国際都市札幌」の認知等
社会	全ての人にやさしい 共生社会の実現	バリアフリーの推進等
環境	次世代が豊かな自然を享受 できるまち	再生可能エネルギーの 利活用等

〔想定大会規模〕

	オリンピック	パラリンピック
開催期間	2030年2月8日～2月24日	2030年3月8日～3月17日
競技数	7競技 109種目	6競技 80種目
参加アスリート数	2,891人	563人
競技会場数	13会場（札幌・ニセコ・帯広等）	6会場（札幌・ニセコ）

※北京2022大会の競技・種目を参考に想定

出典：札幌市HP <https://www.city.sapporo.jp/sports/olympic/documents/honsho5.pdf>

I 札幌観光を取り巻く情勢

7. 国際大会・会議

アドベンチャー・トラベル・ワールド・サミット (ATWS)

「ATWS 2023」の開催地が北海道に内定

- 「ATWS 2021」(2021/9/20-24)のクローージングセレモニーにおいて、主催者であるアドベンチャー・トラベル・トレード・アソシエーション(ATTA)より、2023年大会の開催地に北海道が内定したことが発表されました。
- ATWSの開催は、観光地としての地域の魅力を世界に発信する絶好の機会であり、地域経済を活性化する起爆剤となることが期待されます。

アドベンチャー・トラベル・ワールド・サミット (ATWS) とは

- ✓ アドベンチャー・ツーリズムに関する世界的な商談会・イベント
- ✓ 旅行会社、メディア、アウトドアメーカー、観光局・観光協会、ガイドなど世界中のアドベンチャー・トラベル(AT)関係者が参加
- ✓ 通常4日間にわたり、AT体験、商談会、セミナー等が開催される
- ✓ 2019年大会(ヨーテボリ/スウェーデン)では72か国、773人が参加

出典：観光庁HP https://www.mlit.go.jp/kankocho/news03_000213.html

〔過去の開催実績〕

2005年10月 シアトル/米国	2016年 9月 アンカレッジ/アラスカ
2006年10月 シアトル/米国	2017年10月 サルタ/アルゼンチン
2007年10月 ウィスラー/カナダ	2018年10月 トスカーナ/イタリア
2008年 9月 サンパウロ/ブラジル	2019年 9月 ヨーテボリ/スウェーデン
2008年10月 トロムソ〜ベルゲン/ノルウェー	2020年10月 アデレード/豪州(延期)
2009年10月 ケベック/カナダ	2021年9月20~24日 北海道/日本(オンライン)
2010年10月 アビモア/スコットランド	2023年 北海道(内定)
2011年10月 チアパス/メキシコ	
2012年10月 ルツェルン/スイス	
2013年10月 スワコプムント/ナミビア	
2014年10月 キラーニー/アイルランド	
2015年10月 プエルトバラス/チリ	

出典：観光庁HP https://www.mlit.go.jp/kankocho/news03_000213.html

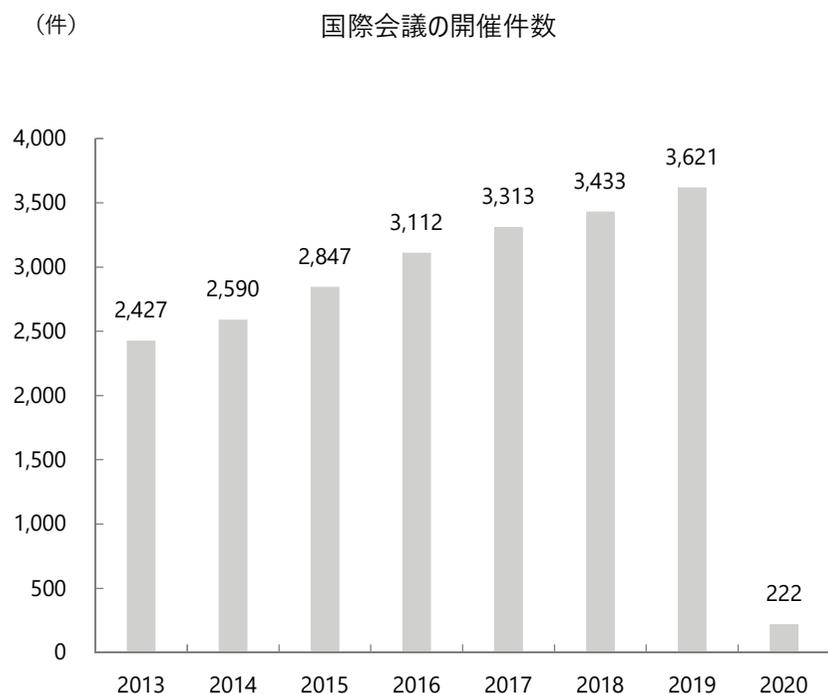
I 札幌観光を取り巻く情勢

7. 国際大会・会議

MICE

国際会議の開催件数は年々増加していたがコロナで多くが延期や中止

- 2019年まで年々増加していた国際会議ですが、2020年以降、コロナの影響により、その多くが延期や中止となりました。



出典：日本政府観光局（JNTO）「国際会議統計」

コロナを受けて、MICEのオンライン化・ハイブリッド化

- コロナを受けて、MICE開催に向けた下記のニーズ変化が生まれました。今後は下記ニーズへの対応が必要となってきます。
 - ハイブリット開催や感染症拡大防止に係るサービス・機能の提供
 - 国際会議開催における持続可能性に対する意識の高まり
 - MICE人材に求められる技術の多様化
 - オンライン・ハイブリットでの開催形式に対する自治体の支援

出典：観光庁「新型コロナウイルス収束後のMICEのあり方に関する調査等業務報告書」

〔2020年に開催が予定されていた国際会議の件数と開催状況〕

地域	影響なし	オンライン	ハイブリッド	延期	開催地変更	中止
欧州	344(7%)	1,423(30%)	48(1%)	2,231(47%)	30(1%)	630(13%)
アジア	187(12%)	378(25%)	80(5%)	628(42%)	29(2%)	199(13%)
(うち、日本)	30(10%)	97(31%)	12(4%)	126(41%)	5(2%)	39(13%)
北米	93(9%)	380(39%)	6(1%)	318(32%)	3(0%)	180(18%)
中南米	69(11%)	165(27%)	-	275(44%)	4(1%)	108(17%)
大洋州	26(10%)	69(27%)	4(2%)	103(40%)	5(2%)	52(20%)
アフリカ	26(11%)	63(26%)	4(2%)	122(50%)	-	31(13%)
中近東	18(19%)	28(29%)	1(1%)	37(38%)	2(2%)	11(11%)
合計	763(9%)	2,506(30%)	143(2%)	3,714(44%)	73(1%)	1,211(14%)

出典：観光庁「MICEの誘致・開催の促進」

I 札幌観光を取り巻く情勢

8. 持続可能な観光

「持続可能な観光」の推進

世界中で「持続可能な観光」が注目

- 国際的な取組として持続可能な観光の推進が各国、国際機関でも議論されており、今後も広がりを見せる傾向にあります。

G20観光大臣会合

- ✓ 2021年5月4日にG20及びその他各国、関係機関が参加
- ✓ 包括的、強靱かつ**持続可能な旅行と観光の回復をテーマ**として開催
- ✓ **SDGsと関連した政策分野（GX、DX等）**について議論を実施し、「観光大臣宣言」、「観光の未来に関するG20ローマガイドライン」の採択に合意

グラスゴー宣言

- ✓ 2021年11月4日に国連気候変動枠組条約第26回締約国会議(COP26)で発表
- ✓ 正式名称「観光における気候変動対策に関するグラスゴー宣言」
- ✓ 観光分野における気候変動対策を加速し、**今後10年間で観光部門における二酸化炭素（CO2）排出量を半減**させ、2050年までに「ネット・ゼロ・エミッション（実質排出ゼロ達成）」を目指すもの
- ✓ 内容は大きく、「測定」「脱炭素」「再生」「協働」「資金」の5分野
- ✓ 観光に携わる**民間企業や組織、政府等310関係団体が署名**



出典：観光庁HP https://www.mlit.go.jp/kankocho/news07_000142.html

日本版「持続可能な観光ガイドライン」の公表

- UNWTO（国連世界観光機関）の下、開発指示された指標であるGSTCをベースに日本版のガイドラインが2020年6月に公表されています。

日本版持続可能な観光ガイドラインの役割

- ① **自己分析ツール**
観光政策の決定、観光計画の策定に資するガイドラインとして活用
- ② **コミュニケーションツール**
地域が一体となって持続可能な地域/観光地づくりに取り組む契機に
- ③ **プロモーションツール**
観光地としてのブランド化、国際競争力の向上

北海道ニセコ町などで導入開始、今後他地域に拡大する見込

- ガイドラインに沿った取組を導入する自治体も出てきており、今後さらに多くの自治体で持続可能な観光への取組みが拡大すると考えられます。

持続可能な観光指標（ガイドライン）導入モデル事業

トレーニングプログラムの開催、有識者の派遣等により取組を推進し、他の地域への導入・普及の契機とすることが目的

実施地域（主体組織）

北海道ニセコ町、三浦半島観光連絡協議会（鎌倉市、逗子市、横須賀市、三浦市、葉山町）、岐阜県白川村、京都府京都市、沖縄県

出典：観光庁HP https://www.mlit.go.jp/kankocho/topics08_000181.html

札幌観光を取り巻く情勢

8. 持続可能な観光

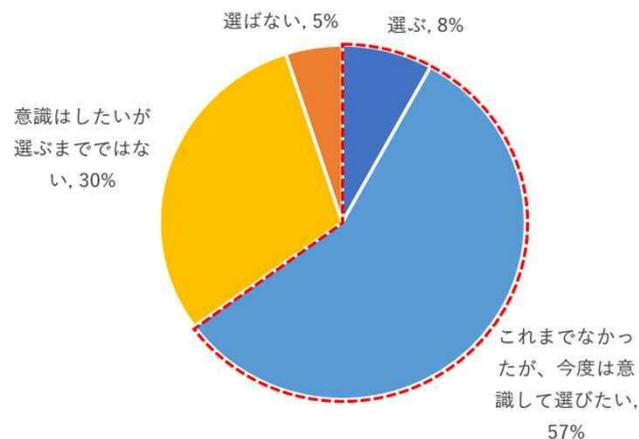
SDGs観光ニーズ

旅行プランにおいてもSDGs達成に貢献する商品への需要が増加

- 日本旅行が2022年6月に発表した「旅とSDGsに関するアンケート」の結果によると、回答者の半数以上がSDGs達成に貢献している商品を検討すると回答しており旅行客のSDGsへの関心の高まりが確認されています。

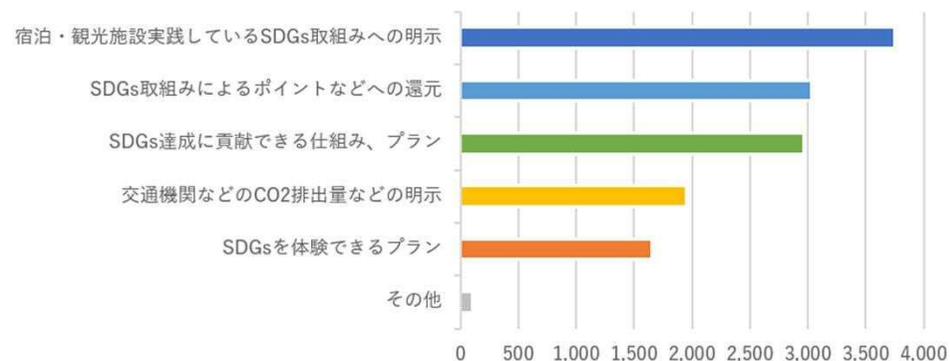
アンケート実施時期	2022年3月18日～2022年4月28日
有効回答数	7,468件（10代～70代の男女）
アンケート実施方法	赤い風船発売50周年の記念サイト内にて実施

旅行プランを決める際、SDGs 達成に向けた取組みに貢献している商品を選びますか？

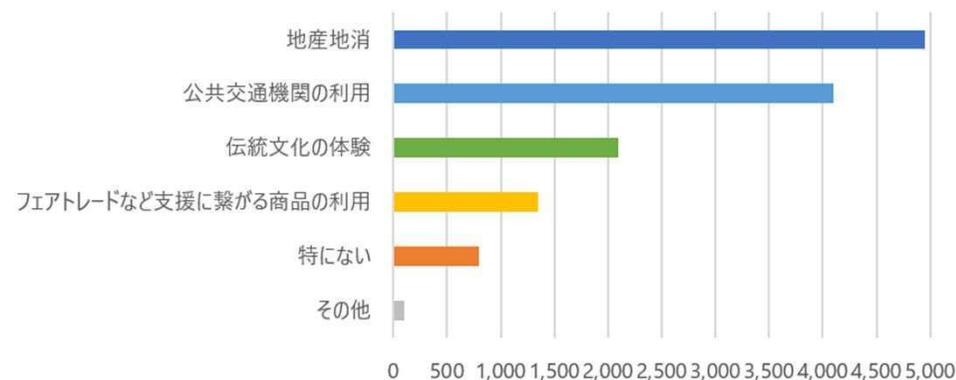


出典：日本旅行HP https://release.nikkei.co.jp/attach/635201/02_202206241716.pdf

旅行業・観光業へ求めることは何ですか？



SDGs 達成に向けた取組みの中で、旅行プランで実践したいことはありますか？



出典：日本旅行HP https://release.nikkei.co.jp/attach/635201/02_202206241716.pdf

札幌観光の現状分析

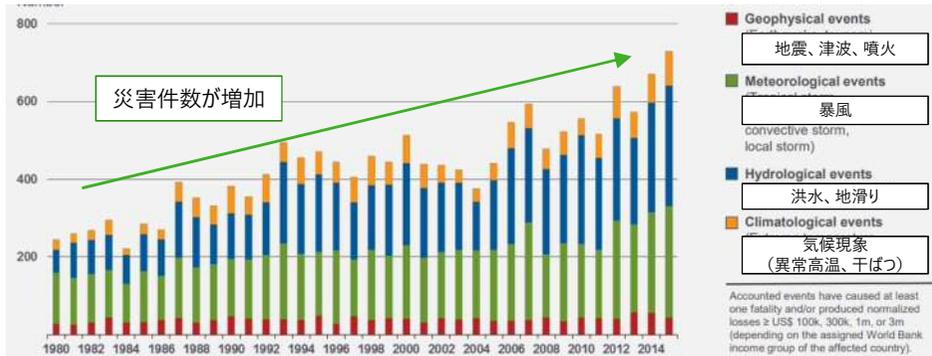
I 札幌観光を取り巻く情勢

9. 自然災害・気候変動・感染症等のリスク

自然災害の増加と影響

世界的に気象災害が増加

- 世界気象機関は、1970年から2019年までの50年間で、暴風雨や洪水、干ばつといった世界の気象災害の数が5倍に増加したと発表しています。



日本でも毎年災害が発生、観光地では風評被害への対応も必要

- 日本でも毎年災害が発生し、平成30年9月6日に北海道胆振地方中東部で発生した地震では、風評被害も含め観光業にも大きな影響を及ぼしました

観光消費の総影響額 約356億円※ ※宿泊施設のキャンセル数をもとに、交通費や飲食・土産物消費などを含めた、観光消費の影響額を推計

キャンセル件数と被害額		観光施設への被害件数	
宿泊施設	1,149千泊 140億円	宿泊施設	152件
観光・体験施設	210千人 9億円	道の駅	35件
観光バス	9千台 8億円	観光施設	59件
レンタカー	38千台 7億円	その他	20件
フェリー・遊覧船	33千人 0.5億円	計	266件
計	- 165億円	被害額	2.5億円

出典：①Munich RE「Loss events worldwide 1980-2015」 ※日本語コメント、矢印はトーマツ追加
出典：②北海道HP https://www.pref.hokkaido.lg.jp/fs/2/3/3/2/7/7/1/_/06siryu03.pdf

観光客への対応

北海道では、自然災害発生時の対応窓口としてサポートステーションを開設

- 災害発生時などの観光客のスムーズな帰宅・帰国、移動に向けた「観光客緊急サポートステーション」が平成31年3月に開設され、観光客の不安払拭にむけた緊急的な支援が開始しています。



開設基準：災害等で一定期間にわたり帰宅・帰国のための離道や移動が困難な観光客の発生が予想される場合等
開設時間：開庁時間を基本に、災害時等は必要に応じて最大24時間態勢
開設場所：本庁舎または別館
対応言語：日本語、英語、韓国語、中国語

出典：北海道HP https://www.pref.hokkaido.lg.jp/fs/2/3/3/2/8/0/4/_/06shiryu01keizaibu.pdf

札幌観光を取り巻く情勢

9. 自然災害・気候変動・感染症等のリスク

北海道の気候変動と影響

気候変動により、北海道らしい自然の魅力が損なわれる可能性

- 自然観光地の多い北海道で気温、降水、積雪の変化は観光客の来訪に大きく影響します。
- 冬日の減少、積雪量の減少、降水量の増加は北海道が持つ自然の魅力を損ない、観光客減少につながる可能性があります。

	2018年までの変化	将来見通し
気温	<ul style="list-style-type: none"> ● 道内の平均気温は、過去100年でおおよそ1.60°C上昇している ● 日最低気温の変化率が大きい ● 冬日・真冬日の日数が減少している 	<ul style="list-style-type: none"> ● 21世紀末の平均気温は、20世紀末を基準に5.0°C程度上昇が見られ、冬の日最低気温は6.1°C程度の上昇がみられる ● 夏日は年間で約52日増加、冬日は年間で約58日減少する
降水	<ul style="list-style-type: none"> ● 道内の年降水量は、過去100年で大きな変化はみられない ● 日降水量50mm以上及び70mm以上の年間日数は増加傾向がみられる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 年降水量は21世紀末で概ね10%増加、地域毎では日本海、太平洋側で増加する21世紀末には大雨や短時間強雨の頻度が増加する
最深積雪	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本海側では最深積雪が減少傾向にあることが明瞭に現れている 	<ul style="list-style-type: none"> ● 年最深積雪は、各地域で減少する ● 年降雪量は、各地域で減少する

出典：北海道HP <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/tot/HoLCCAC.html>

感染対策

新しい生活様式の浸透

- コロナの感染拡大を防止するため、不要不急の外出を控えたり、ソーシャルディスタンスの確保や三密の回避という新しい生活様式が推奨されています。
- これにより、リモートワークやワーケーションという新しい働き方が浸透し始め、オンラインの活用もこれまで以上に盛んになっています。
- 国が示した新しい生活様式の北海道内での実践に向けて、コロナに強い社会として「北海道スタイル」が北海道から提唱されています。具体的な対策として、下記のような取組を挙げて道民や事業者への浸透を図っています。



出典：北海道庁経済企画局経済企画課

I 札幌観光を取り巻く情勢

10. 国・北海道等の取り組み

国等の施策

2030年に訪日外国人観光客数を6,000万人まで増加（政府目標）

- 政府は、2016年3月に「明日の日本を支える観光ビジョン」を策定し、訪日外国人観光客数を2020年に4,000万人、2030年に6,000万人とする目標を掲げています。
- 2020年の目標は新型コロナウイルスの影響で未達となりましたが、感染収束後の中長期スパンではインバウンドの回復可能性があり、2030年の目標は達成可能として据え置いています。今後は、コロナからの回復、With・Afterコロナ時代への対応、インバウンド受入体制強化、インバウンド向けプロモーションの促進を大きな柱とした施策が展開されます。

〔明日の日本を支える観光ビジョン〕数値目標

指標	2020年目標	2030年目標
訪日外国人旅行者数	4,000万人	6,000万人
訪日外国人旅行消費額	8兆円	15兆円
地方部での外国人延べ宿泊数	7,000万人泊	1億3,000万人泊
外国人リピーター数	2,400万人	3,600万人
日本人国内旅行消費額	21兆円	22兆円

出典：観光庁「明日の日本を支える観光ビジョン」

北海道の施策

北海道観光のくにづくり行動計画の策定

- 北海道では2021年11月に「第5期 北海道観光のくにづくり行動計画」が策定され、2025年度までの5年間で、インバウンド需要の獲得のみならずコロナ禍の教訓を活かした旅行者比率のリバランス（国内旅行の需要喚起）、ワーケーションなど滞在型観光の促進などの施策が展開されます。

〔第5期 北海道観光のくにづくり行動計画〕

<p style="text-align: center;">クリーン×セーフティ北海道</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新北海道スタイル、業種別感染症対策ガイドラインの徹底などによる安全・安心の提供 ・広大な自然、密になりにくいアウトドア環境など本道の価値・優位性を再評価 ・積極的な情報発信 ・環境と共生する観光の推進
<p style="text-align: center;">量×質の追求</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少社会における道内観光の高付加価値化 ・地元（道民）からも愛される観光地づくり ・自然環境・食など本道の観光資源のブランド力強化による新規誘客・リピーターの獲得 ・富裕層向け商品・サービスの充実による質の向上 ・AI、IoT等先端技術導入による観光産業の収益構造の改善
<p style="text-align: center;">旅行者比率のリバランス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道民の道内再発見、国内旅行の需要喚起 ・渡航制限解除等を見据えた海外需要の獲得 ・欧米等新規市場の開拓による市場拡大
<p style="text-align: center;">新しい旅行スタイルの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本道の自然等を活かしたワーケーションの創造などによる滞在型観光の推進 ・「ATWS 北海道／日本」を契機に本道の自然・文化等の特性を活かしたアドベンチャー・トラベルの造成・発信 ・MICE・IRなど新たなインバウンド等の取込方策の検討
<p style="text-align: center;">観光インフラの強靱化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域観光の拠点としての道内空港等の利活用 ・観光産業を支える人材の確保・育成 ・災害時等に観光客の安全・安心に資する基盤の強化
<p style="text-align: center;">推進体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光関係団体等との連携推進 ・観光振興に係る安定的な財源の確保

出典：北海道「第5期 北海道観光のくにづくり行動計画」

I 札幌観光を取り巻く情勢

10. 国・北海道等の取り組み

環境省による取り組み

環境省による「国立公園満喫プロジェクト」の推進

- 政府全体で、2030年の訪日外国人旅行者数を6,000万人とする「明日の日本を支える観光ビジョン」の施策に取り組んでいます。その柱の一つとして、環境省は、「国立公園満喫プロジェクト」を推進し、日本の国立公園のブランド力を高め、国内外の誘客を促進しています。国立公園の利用者数だけでなく、滞在時間を延ばし、自然を満喫できる上質なツーリズムの実現を目指しています。

〔国立公園の訪日外国人利用者数の推計結果〕



- 当プロジェクトでは、2020年に新型コロナウイルス感染症の影響により国内外の観光客が大幅に減少し、国立公園の観光地では大きな打撃が生じていることを踏まえ、国内外の利用者の復活に向け、受入環境整備やワーケーション等の新たな利用推進、および国立公園の魅力向上を図っています。

(主な施策)

- 国立公園・温泉地等での滞在型ツアー・ワーケーション推進
- 滞在環境の上質化／多言語化
- 滞在型コンテンツの創出
- 基盤的な利用施設の整備／長寿命化
- 受入環境・体制の向上／山小屋支援による保全の仕組みづくり、旅行博等への出展等／山小屋施設改修支援等

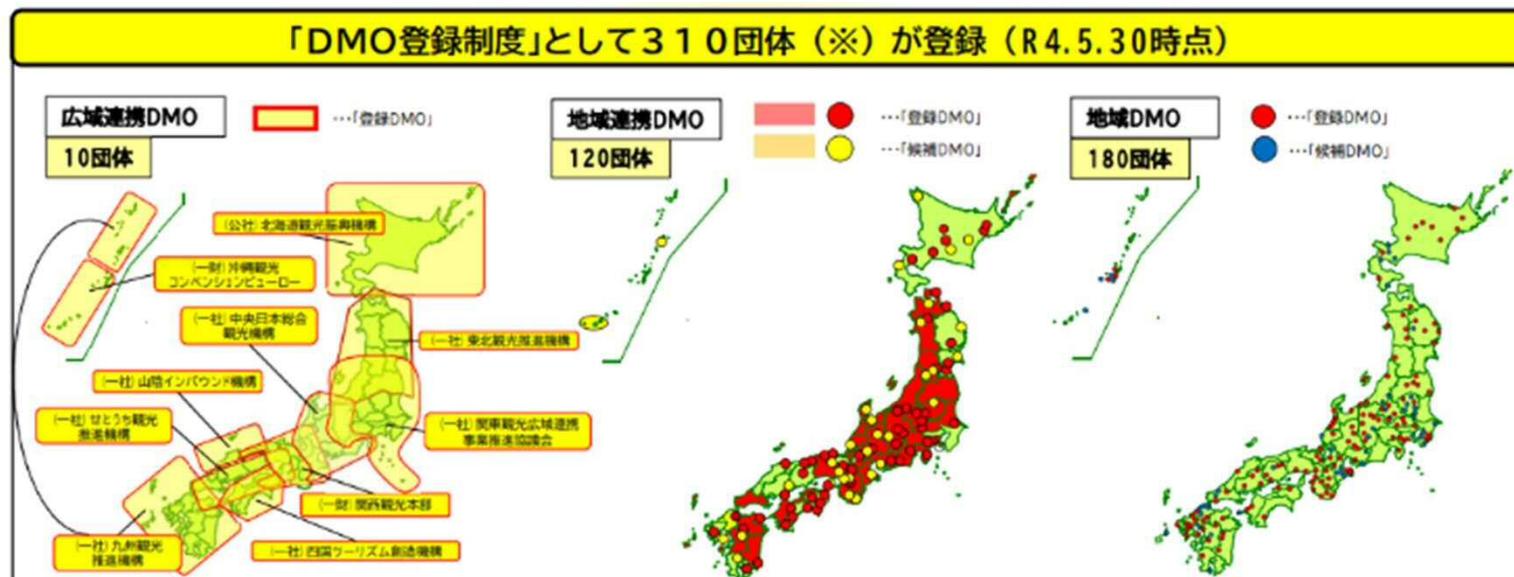
I 札幌観光を取り巻く情勢

10. 国・北海道等の取り組み

観光地経営の推進

国内観光都市間での競争激化

- 観光庁は、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりを支援するため、観光地域の舵取り役としての観光地域づくり法人「DMO（Destination Management / Marketing Organization）」の形成・確立を支援してきました。多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えることを期待しております。
- 観光庁は、DMOの登録制度を創設しており、令和4年5月末時点で310団体が登録されています。道内DMOでは6カ所、政令指定都市では、京都市・横浜市・神戸市の3カ所が既に認定を受けています。
- DMOがある地域では、地域が一体となった戦略立案やPDCA、事業の推進を行っているため、観光都市間での観光客獲得の競争は激化するものと考えられます。



観光統計

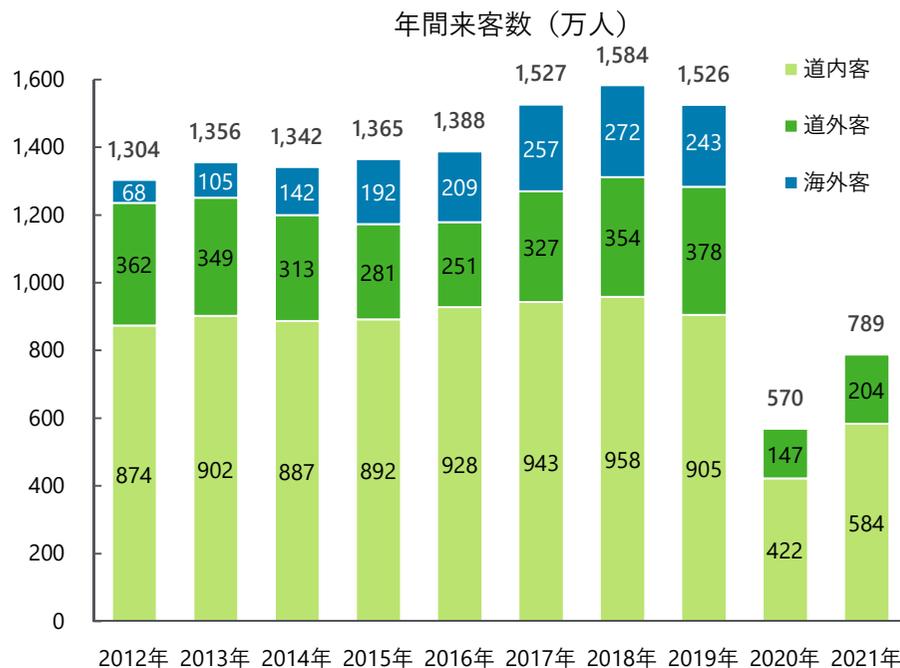
II 札幌観光の現状①（観光統計）

1. 来札観光客数

観光客入込数

来札観光客は2018年まで増加、2020年度はコロナ影響で大きく減少

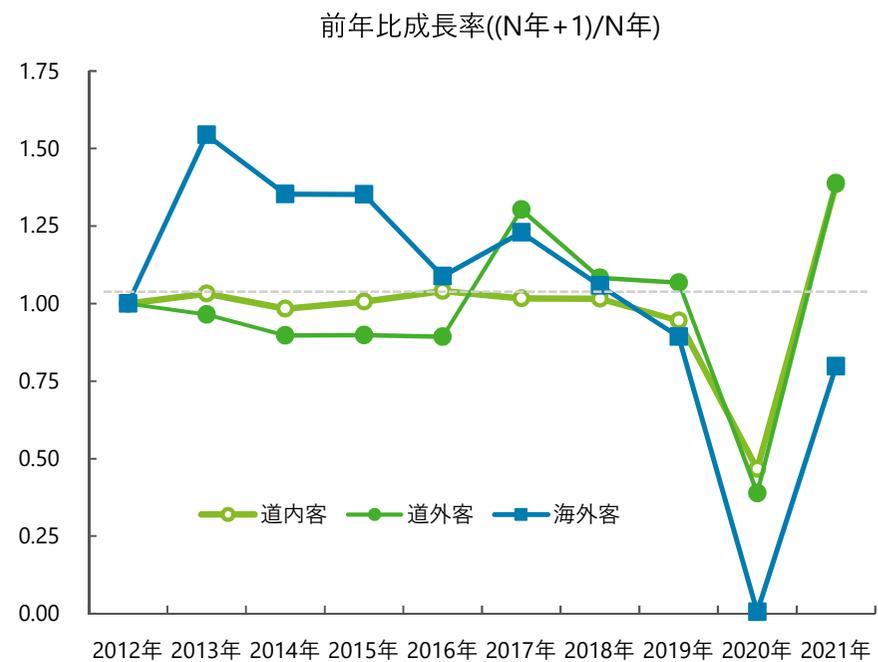
- 年間来客数は、2018年度まで着実に増加し、1,584万人（目標の88%）まで達しました。
- しかし、コロナ禍の影響で2020年には570万人まで減少し、2021年にやや回復はしたものの、最終目標である1,800万人には届かない見込みです。



出典：札幌市「札幌の観光」

来札観光客は2018年まで増加、2020年度はコロナ影響で大きく減少

- 内訳を確認すると、前プランの前半は海外客の成長が牽引していましたが、前プラン後半は道外客が伸び、海外客の成長は鈍化していました。



出典：札幌市「札幌の観光」

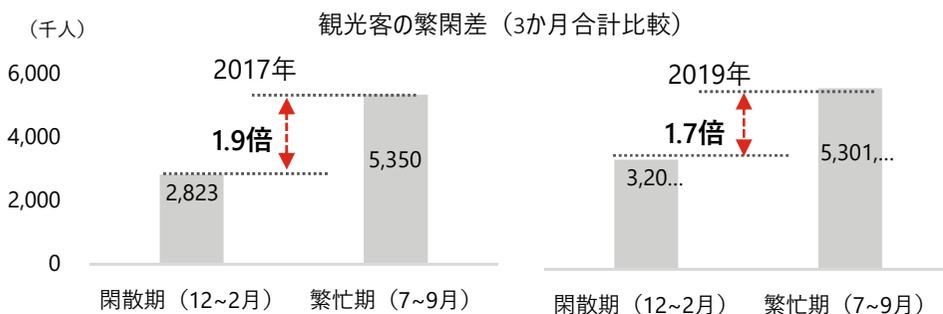
II 札幌観光の現状①（観光統計）

1. 来札観光客数

観光客入込数

月別推移では、繁忙期(7月~9月)と閑散期(12月~2月)の差が大きい

- 札幌観光は、10月以降は観光客数が減少します。
- 7~9月の夏の観光客が多いこともあり、12~2月の冬の観光客との繁閑差が大きくなっておりませんが、コロナ禍前では、その繁閑差も縮小していました。



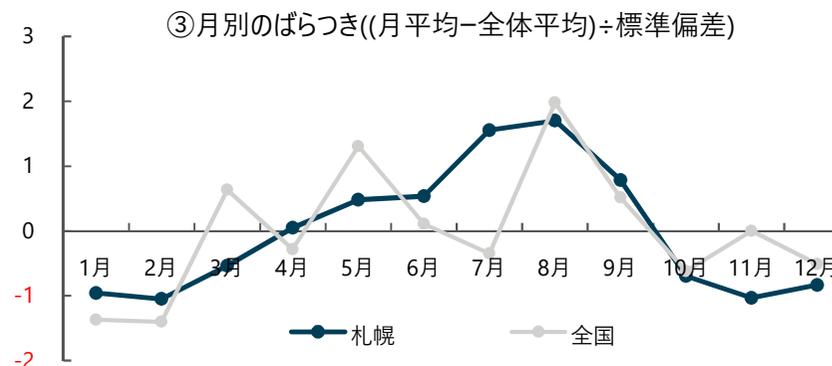
出典：札幌市「札幌の観光」

〔参考〕

- 冬の観光が少ないのは国内でも同様となります。
- 下記は、2017年～2019年（暦年）の月別の観光客数の平均をバラつき度合を、国内全体と札幌を比較したものととなります。
- 年間全体では、①変動係数（標準偏差/平均値）および②最大倍率（最大値÷最小値）で比較すると、札幌と全国平均はほぼ同値であり、同程度となります。

指標	全国平均	札幌
①変動係数（標準偏差/平均値）	0.23	0.28
②最大倍率（最大値÷最小値）	2.18	2.09

- 一方で、③月別のばらつき $((\text{月平均}-\text{全体平均})\div\text{標準偏差})$ を確認すると、札幌は7~9月に通常月よりも多くの観光客が来札していることがわかります。



出典：①観光庁「旅行観光消費動向調査」（暦年）
出典：②札幌市「札幌の観光」

II 札幌観光の現状①（観光統計）

1. 来札観光客数

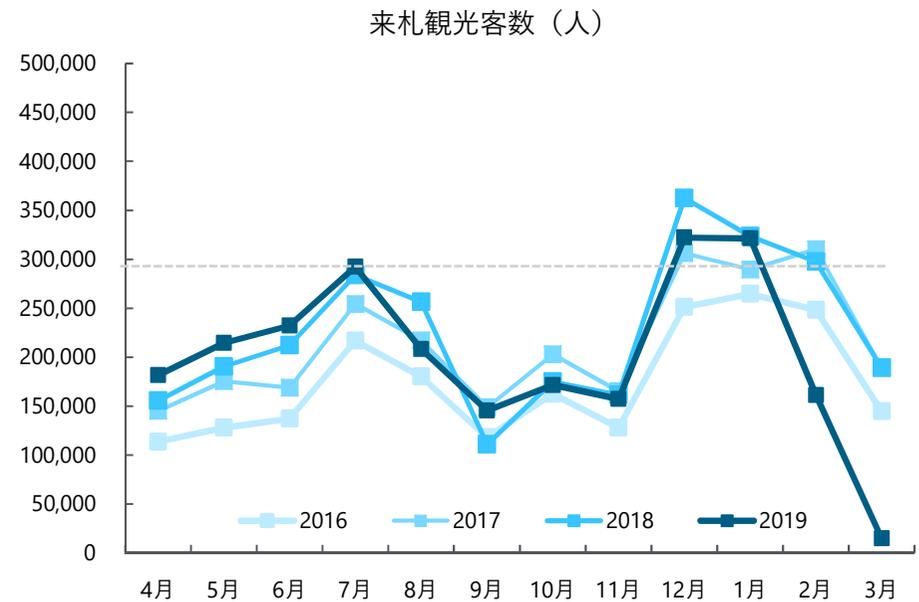
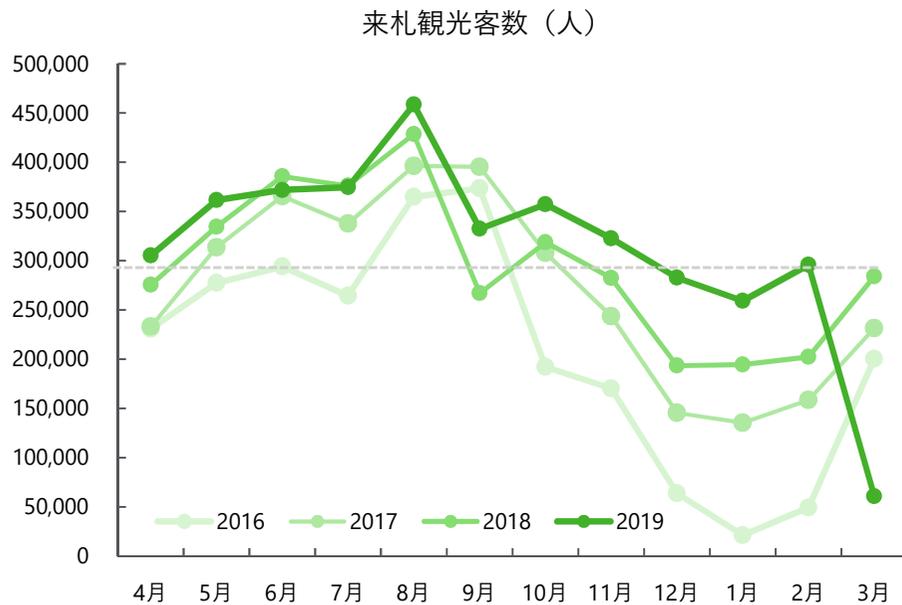
観光客入込数

道外客は一年を通して増加しているが特に12～2月に大きく増加

- 道外客は、夏に多く来札する傾向があります。
- 2016年～2019年の間は、ほぼすべての月で前年より増加していますが、特に、12～2月の冬期間が増えており、夏と冬の繁閑差が改善しています。

海外客は12～2月に来札する傾向

- 海外客は、12～2月の冬に多く来札する傾向があります。
- しかし、その成長率は年々小さくなっています。



出典：札幌市「札幌の観光」

出典：札幌市「札幌の観光」

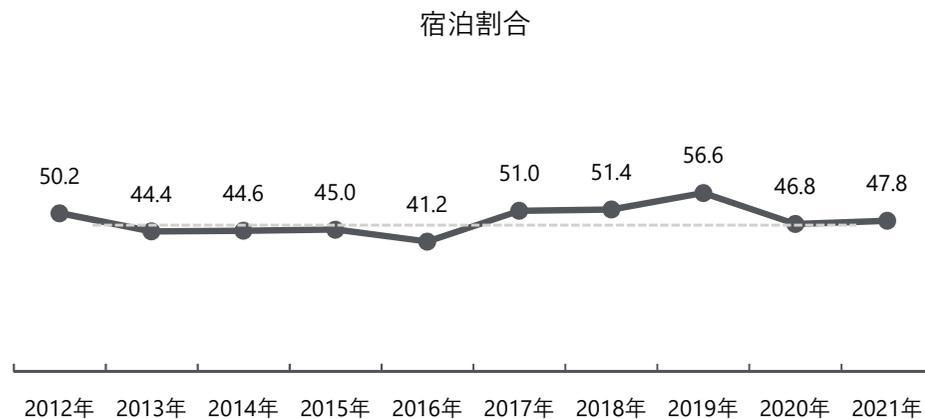
II 札幌観光の現状①（観光統計）

1. 来札観光客数

宿泊・日帰りの割合

2017年以降は、道外客・海外客が増加したため宿泊割合も増加

- 2017年以降は道外客や海外客の増加に伴い宿泊割合も増加傾向にありました。しかし、コロナ禍の影響で、再び5割を切る水準となっています。



II 札幌観光の現状①（観光統計）

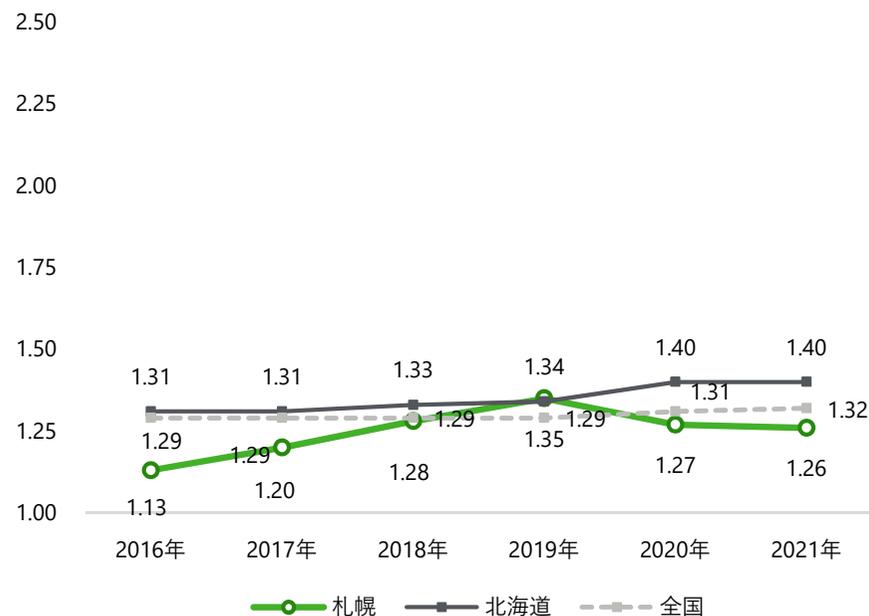
1. 来札幌観光客数

平均滞在日数

国内客の平均滞在日数は増加傾向だったが2019年以降下降

- 2019年には全国・北海道と同程度となりましたが、2020年以降、再度低下しています。ただし、2020年以降はコロナ下での実績であり評価が難しいところです。

平均滞在日数（国内客）



来札幌外国人の平均滞在日数は、日本全体の傾向と同水準

- 平均滞在日数は、日本全体と同程度の水準まで上昇しています。ただし、2020年以降はコロナ下での実績であり評価が難しいところです。

平均滞在日数（海外客）



出典：〈全国〉観光庁「宿泊旅行統計調査」（暦年）
 出典：札幌市「札幌の観光」
 ※平均滞在日数の算出方法：延べ宿泊者数／実宿泊者数

出典：観光庁「訪日外客数」
 出典：札幌市「札幌の観光」
 ※平均滞在日数の算出方法：延べ宿泊者数／実宿泊者数

II 札幌観光の現状①（観光統計）

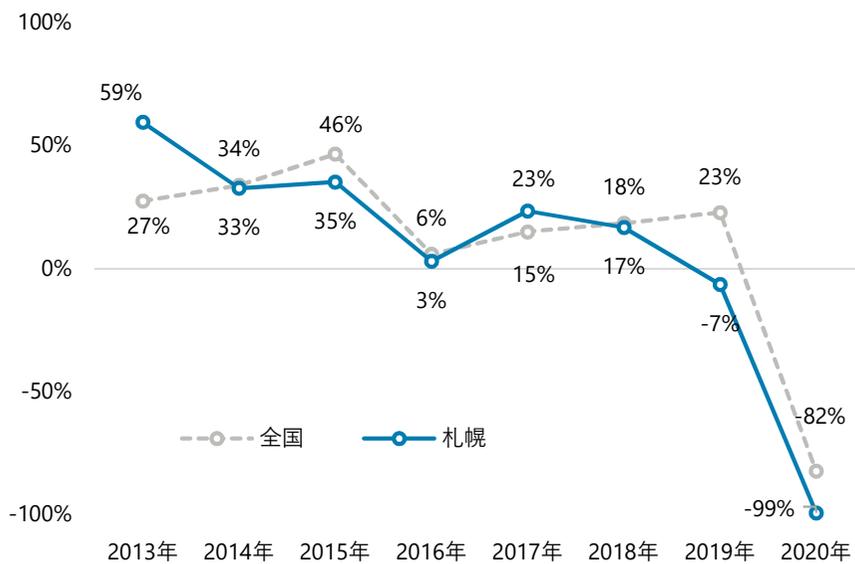
1. 来札観光客数

外国人宿泊客数

外国人宿泊客数は、コロナ禍により国内全体と同水準の減少

- 外国人宿泊客数は、国内全体と同水準で増減しており、コロナ禍により前年比はマイナスに転じています。

外国人延べ宿泊者数前年比の推移

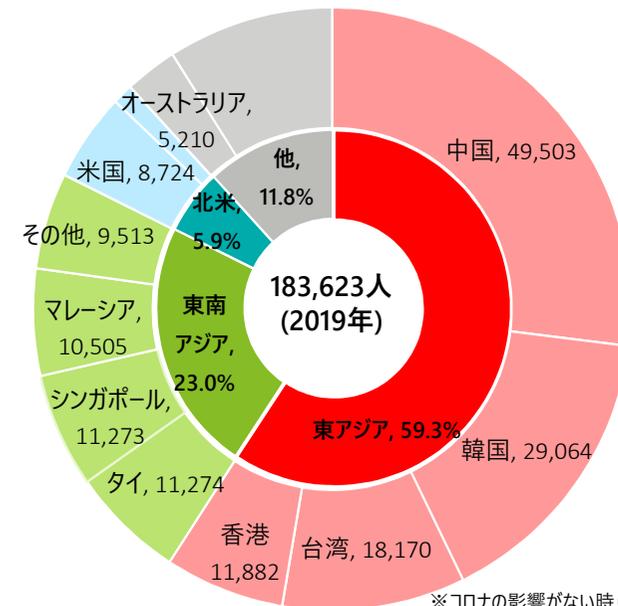


出典：JNTO「訪日外客数」
 出典：札幌市「札幌の観光」
 ※平均滞在日数の算出方法：延べ宿泊者数／実宿泊者数

来札外国人宿泊客のうち約9割はアジア圏が占める

- アジア圏が多く、2019年では訪日外国人の約82.3%を占めていますが、日本全体（約84.1%）と同程度の割合となっています。
- アジア圏への依存はあるものの、全国全体と比べると東南アジアの割合が高く、札幌観光の強みであるとも考えられます。（東南アジアの割合：全国平均10.7%、札幌23.0%）

外国人宿泊客の地域・国別構成割合（2019年）



※コロナの影響がない時点でのデータに基づき作成

出典：札幌市「札幌の観光」

II 札幌観光の現状①（観光統計）

2. 観光消費額

観光消費額

観光総消費額は堅調に増加、観光消費単価はピークアウト

- 市内の総観光消費額は、観光消費単価の高い海外客が多く来札したため、2019年までは増加していました。
- しかし、観光消費単価は、2015～2016年をピークに減少しています。

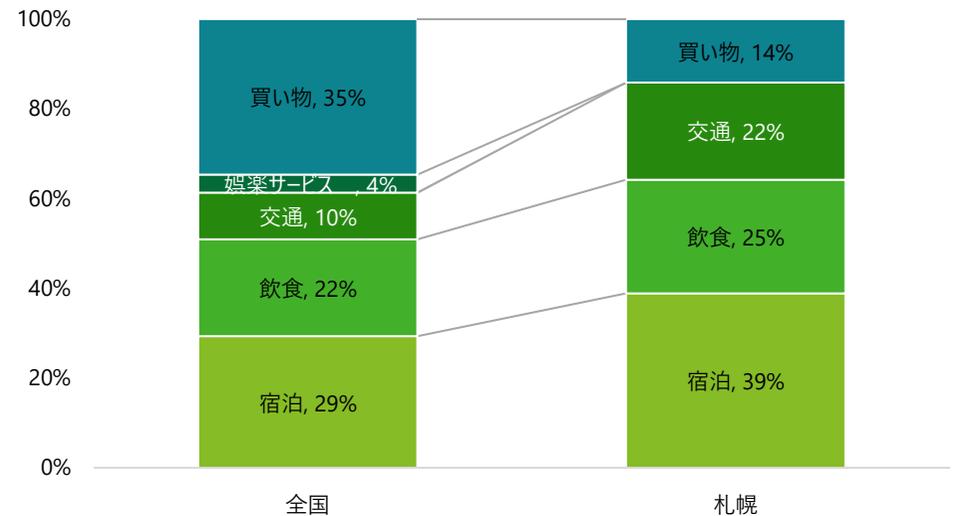
市内総観光消費額（億円、左）、観光消費額単価（千円、右）



全国平均と比較すると、宿泊・交通費の割合が高く、買い物は低い

- 海外観光客の観光消費額の構成を全国と比較すると、宿泊費や交通費への支出が多く、経済波及効果の高いサービスでの消費が少なくなっています。

海外観光客観光消費額の費目別構成



※全国データは2019年暦年、札幌データは2019年度であり、対象期間が異なります。
 ※「来札観光客満足度調査」における「お土産」の項目は「買い物」に含めております。

出典：札幌市「第1回札幌市まちづくり戦略ビジョン審議会 参考資料」

出典：〈全国〉観光庁「訪日外国人消費動向調査」 〈札幌〉札幌市「来札観光客満足度調査」

II 札幌観光の現状①（観光統計）

3. MICE

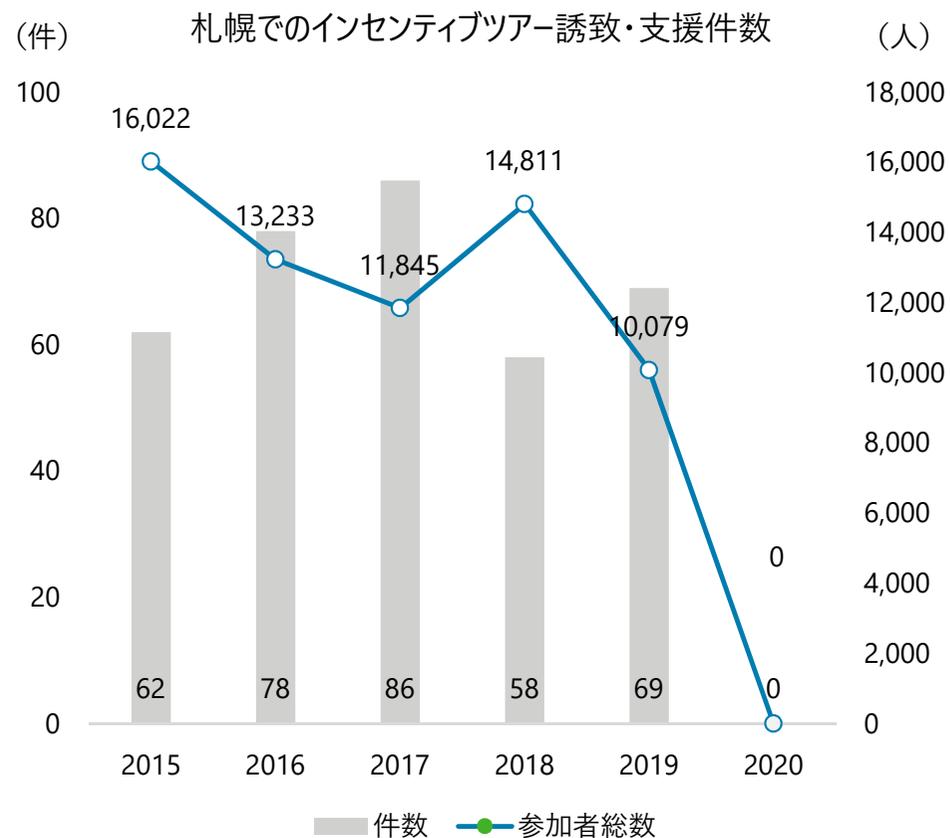
MICE

開催件数は全国的に増加する一方、札幌では減少

- コロナ前までは全国で国際会議が増加する一方で、札幌市の国際会議は2016年よりも減少しています。
- インセンティブツアー誘致や支援件数も毎年同程度実施していましたが、前プランでも指摘している通り、他都市のMICE関連施設と比較して劣っている状況から、厳しい状況にあります。

〔都市別の国際会議の開催件数〕

	2016年	2019年	増減率
全国	3,112	3,621	16%
東京（23区）	574	561	-2%
神戸市	260	438	68%
京都市	278	383	38%
福岡市	383	313	-18%
横浜市	188	277	47%
名古屋市	200	252	26%
大阪市	180	204	13%
北九州市	105	150	43%
仙台市	115	136	18%
札幌市	115	102	-11%



出典：日本政府観光局（JNTO）「国際会議統計」

出典：札幌市「札幌の観光」

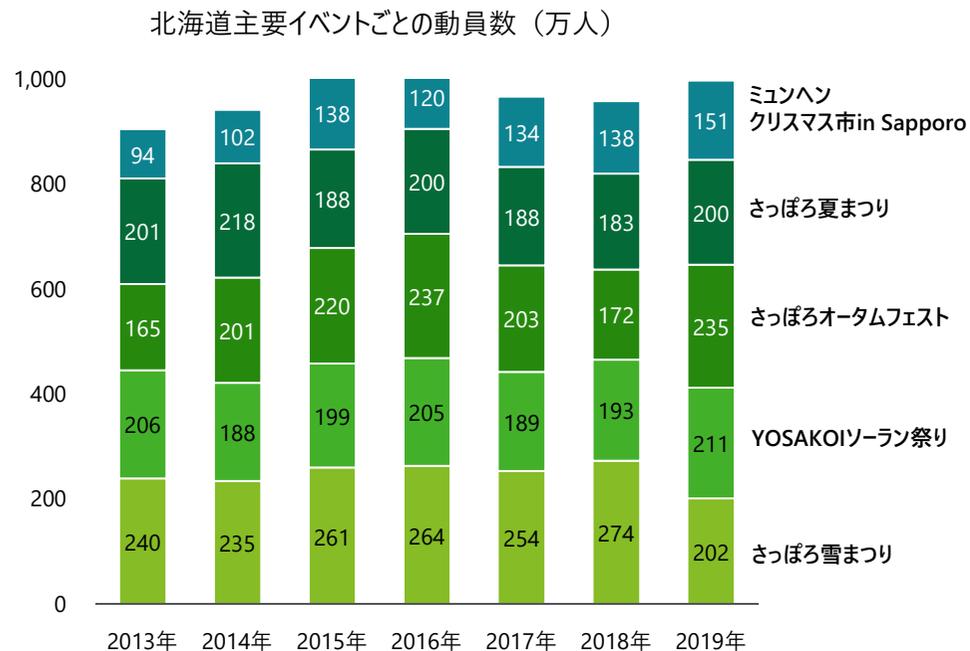
II 札幌観光の現状①（観光統計）

4. イベント

イベント動員数

集客力の高いイベントがある一方、動員数は横ばい

- 札幌市には100万人以上を集客するイベントが季節ごとにあります。
- 道外客が、再訪時の楽しみとして観光イベントをあげる割合が40.3% (2021年度調査より)となるなど、満足度も高いイベントだと考えられます。
- しかし、2020年以降は、コロナ禍の影響によりオンライン化または中止となっております。

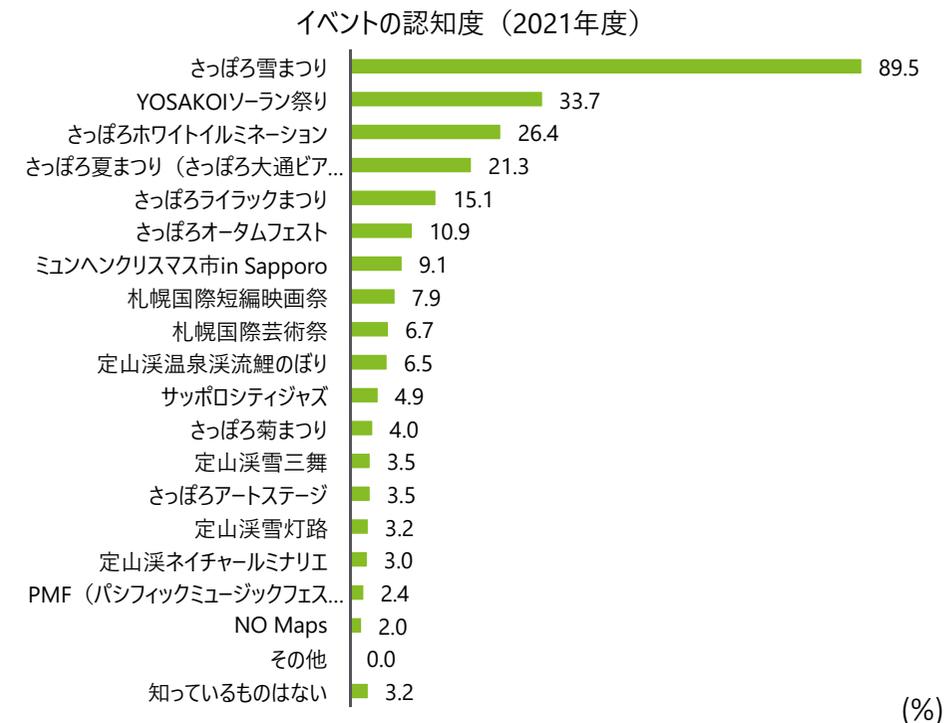


資料：札幌市「札幌の観光」

イベント認知度

さっぽろ雪まつり以外のイベント認知度に課題が残る

- さっぽろ雪まつりの認知度は非常に高いですが、それ以外のイベントは、YOSAKOIソーラン祭りの33.7%を除くと、3割未満となっています。
- この認知度で、200万人近い集客が来ていることを考えると、道外客を中心に認知度を高めることが出来れば、さらなる集客力向上につながる可能性があります。



出典：札幌市「札幌の観光」

(%)

II 札幌観光の現状①（観光統計）

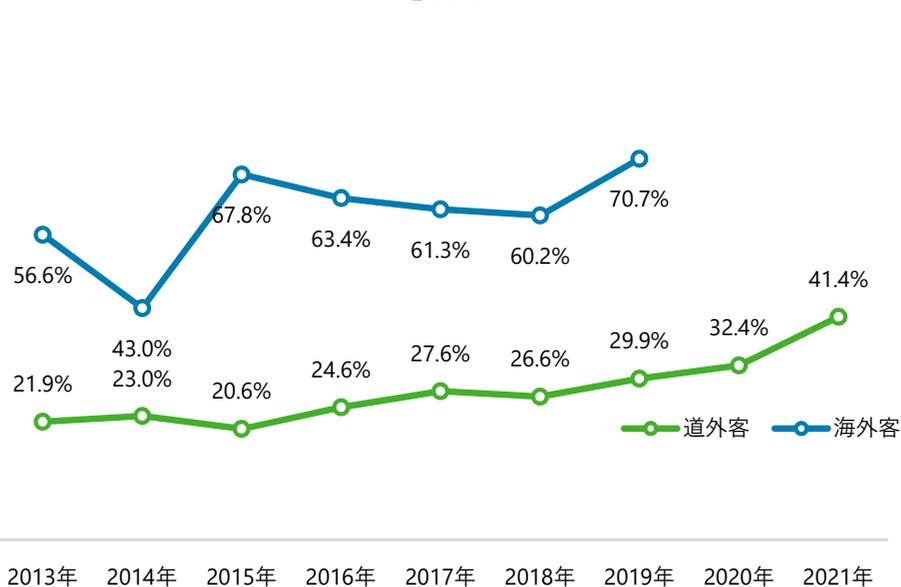
5. 観光客満足度

観光地としての総合満足度

満足度は上昇傾向で、海外客の満足度は7割と高い

- 道外客の満足度に関する直近のデータ(2021年)では、「満足」と回答した人の割合が41%と大きく改善しました。
- 海外客の満足度は70%を超えており、道外客と比べて高い水準を維持しています。

満足度：「満足」と回答した人の割合



出典：札幌市「来札幌観光客満足調査」

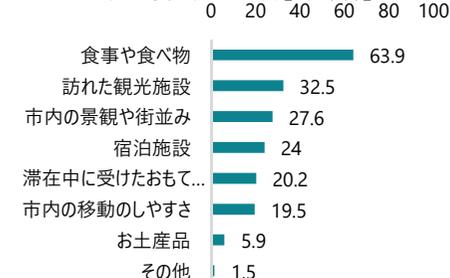
道外客、海外客ともに「食」に対して高評価

- 道外客、海外客のいずれも「食」に対する評価は高くなっています。また、海外客には「おもてなし」「市内の景観」といった項目も高く評価されています。
- 一方で、規模では十分である、二次交通や宿泊施設に対する評価が低くなっています。

満足度の高い項目【道外客】



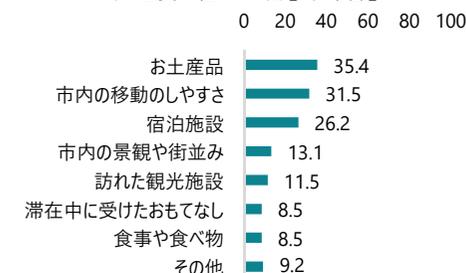
満足度の高い項目【海外客】



満足度の低い項目【道外客】



満足度の低い項目【海外客】



出典：札幌市「令和元年度 来札幌観光客満足度調査 外国人個人観光客動態調査報告書」

II 札幌観光の現状①（観光統計）

6. リピーター率・再訪意欲

リピーター率

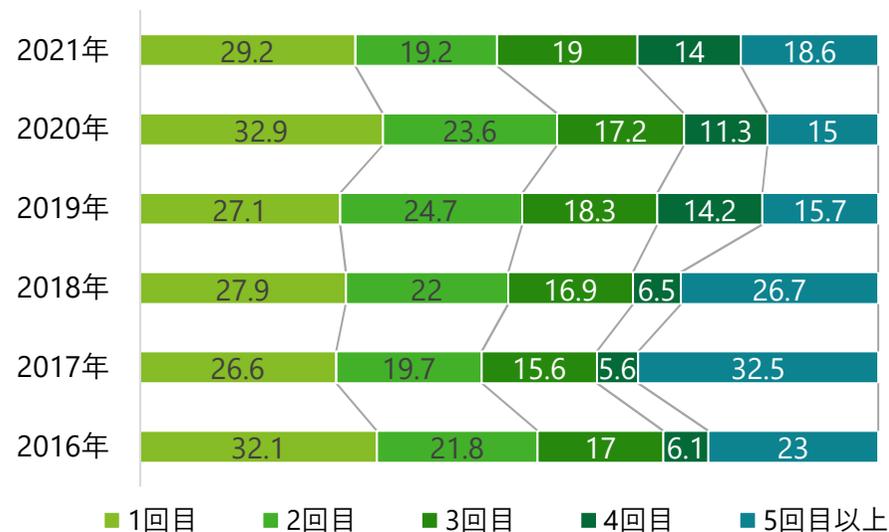
道外客の7割はリピーターの可能性がある

- 道外客へのアンケートでは、7割近い方が2回以上の来札者となっております。静岡県や長崎市ではリピーター率目標を7割前後としており、それら都市と比較するとリピーター率は高いと考えられます。

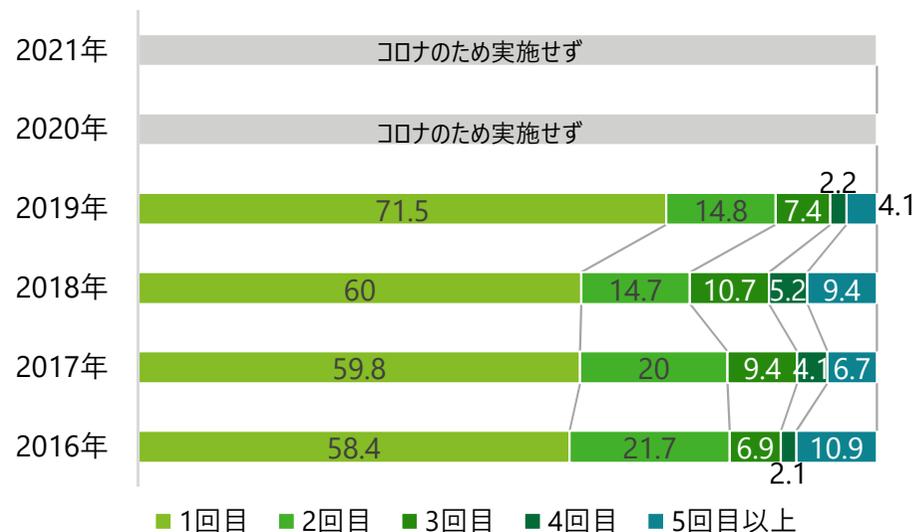
海外客のリピーター率は減少傾向にあり、直近では3割を下回る

- 道外客へのアンケートでは、3～4割の方が2回以上の来札者となっております。
- 観光庁の調査報告では、2019年における訪日外国人のリピーター率は約67%であるため、来札海外客のリピーター率は低い可能性があります。

観光での来札回数



観光での来札回数



出典：札幌市「来札観光客満足度調査 外国人個人観光客動態調査報告書」

II 札幌観光の現状①（観光統計）

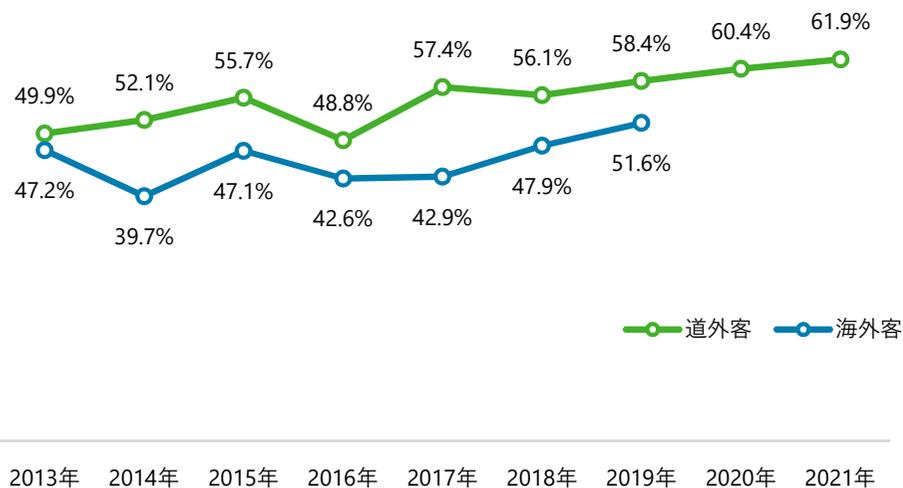
6. リピーター率・再訪意欲

リピーター率

再訪意欲は道外客、海外客ともに増加傾向

- 道外、海外の比較では、海外客の再訪意欲が低くなる傾向にありますが、いずれも増加基調です。
- 国別では、香港、台湾、米国、豪州において、「ぜひ行きたい」と回答した人の割合が50%を超えています。

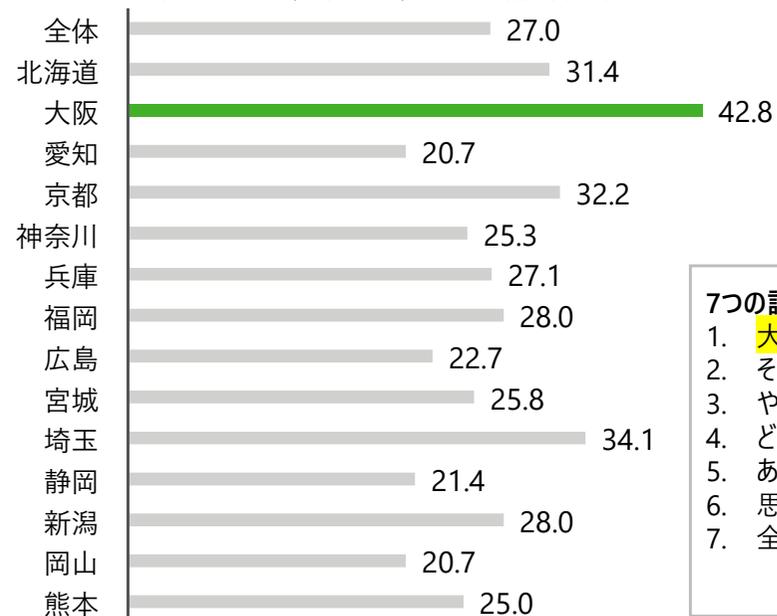
再訪意欲：「ぜひ行きたい」と回答した人の割合



〔参考〕

- （公財）日本交通公社は「JTBF旅行実態調査」にて都道府県別の再来訪意向を7段階に分類し、調査しています。札幌市は5段階であり比較検討は難しいですが、参考情報として記載します。

再来訪意欲（1年以内）※7段階評価中「大変そう思う」



7つの評価分類

1. 大変そう思う
2. そう思う
3. やや思う
4. どちらでもない
5. あまり思わない
6. 思わない
7. 全く思わない

出典：札幌市「来札幌観光客満足度調査 外国人個人観光客動態調査報告書」

出典：（公財）日本交通公社「旅行年報2021」

観光インフラ

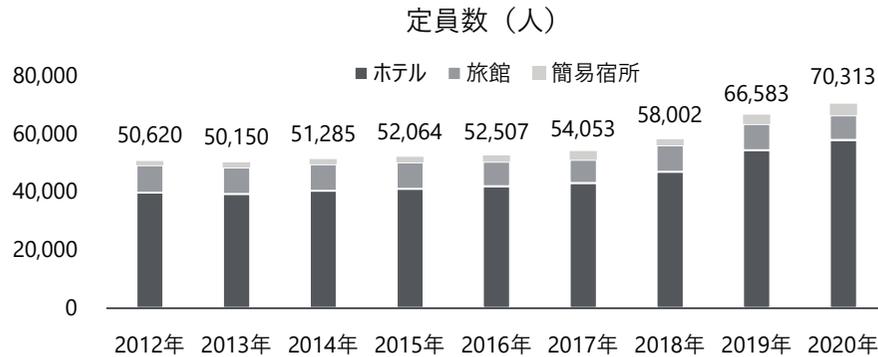
III 札幌観光の現状②（観光インフラ）

1. 宿泊環境

宿泊施設の状況

宿泊施設の受入キャパシティは増加

- 客室数は、インバウンド需要の拡大や旅行者ニーズの多様化を背景に右肩上がり増加しており、2012年度から2020年にかけて約40%増加しています。
- 宿泊施設の受入キャパシティは主要政令指定都市と同規模となっています。
- 一方で、富裕層向けの最高級ホテルブランドがありません。（2029年開業予定の複合ビルに米大手マリオット最高級ブランドの誘致が決定）



就航都市	軒数	客室数	参照元
札幌市	351	33,173	札幌の観光
京都市	3,540	58,068	京都観光協会月レポートより
横浜市	223	不明	横浜市観光MICE戦略より
福岡市	610	37,648	福岡市統計書（令和3年（2021年）版）
名古屋市	200	49,654	名古屋市観光客・宿泊客動向調査 2020年
大阪市	887	不明	

出典：札幌市「札幌の観光」

FIT需要を受け宿泊特化型ホテルが増加している可能性

- 1軒あたりの客室数は減少しており、FIT需要の受け皿となる比較的小規模・コンパクトな宿泊特化ホテルが増加傾向にあると思われます。



出典：札幌市「札幌市の観光」

定山溪は、都心部と異なり客室数は減少傾向

- 定山溪地域における客室数は減少傾向であり、都心部と異なる傾向となっています。



出典：札幌市「札幌市の観光」

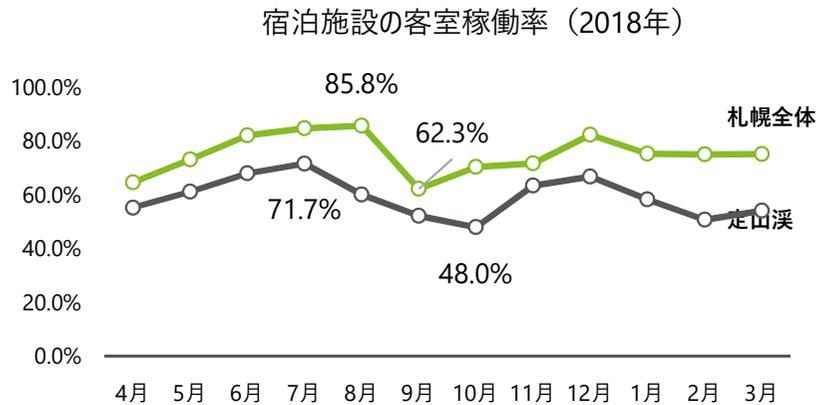
III 札幌観光の現状②（観光インフラ）

1. 宿泊環境

客室稼働率

客室稼働率は80%前後で推移

- 宿泊施設の稼働率は、例年、3月～4月が最も低く、その後は80%前後で推移しています。冬は国内観光客は減少するものの、宿泊を伴う海外観光客の割合が増加するため、宿泊施設稼働率に大きな減少はありません。
- 定山溪地域の稼働率は高い月で70%程度であり、市内中心部と比較すると低くなっています。



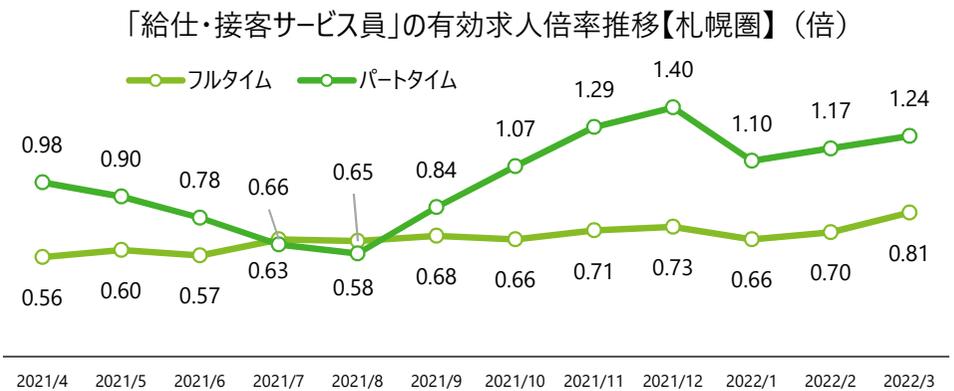
※コロナの影響がない時点でのデータに基づき作成

出典：札幌市「札幌市の観光」

観光業の人手不足

札幌圏では「給仕・接客サービス員」のパートタイム不足感が表れ始める

- コロナ禍の長期化により札幌観光は回復していないものの、観光業に従事する方に多く該当する「給仕・接客サービス員」のパートタイムにおいて、人手不足感が表れ始めています。



出典：北海道ハローワーク【職業別】求人・求職・賃金状況」

III 札幌観光の現状②（観光インフラ）

2. 交通インフラ

来札経路の構成

バスが減少し、乗用車の割合が高まる

- 観光客の来札経路は、FIT化が進んでいることからバス利用が低下し、乗用車およびJRの割合が年々増加しています。

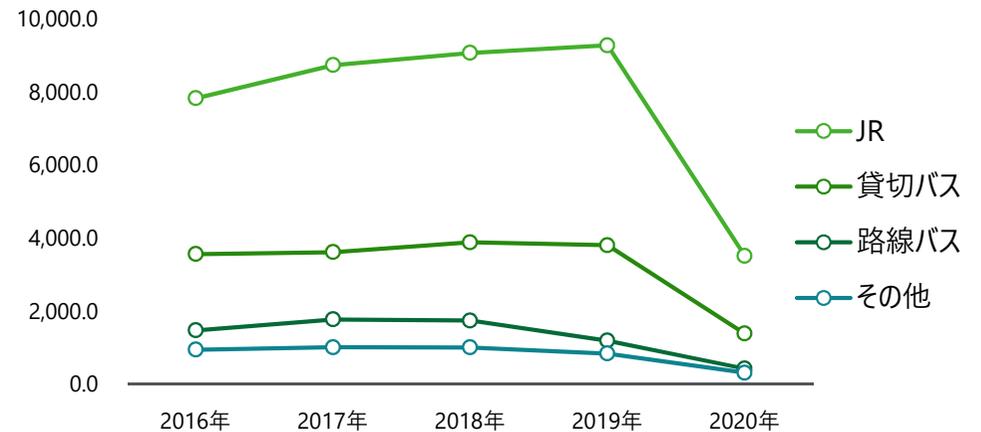
自動車

都市計画によって、高速道路や幹線道路の整備・延長がなされています。
（2024年には道東自動車道が全線開通し、札幌市と釧路市中心部が高速道路でつながる見通し）

鉄道

2030年度末に北海道新幹線の札幌延伸が予定されています。東京-札幌間が8時間弱から4時間半へと大幅に短縮されることで、道外からの誘客増加などの効果が期待されます。

交通機関別入込状況（千人）



出典：札幌市「札幌市の観光」

III 札幌観光の現状②（観光インフラ）

2. 交通インフラ

国内（道外）航空路線（新千歳空港発着）の種類

8地方24空港との直行便

- 地方都市との直行便が豊富で、国内を周遊しやすい環境となっています。

地方	空港	JAL	ANA	ADO	IBX	APJ	FDA	SKY	JJP	SJO
東北	青森	○	○							
	いわて花巻	○								
	仙台	○	○	○	○	○				
	秋田	○	○							
	山形	○					○			
関東	茨城							○		
	成田	○	○			○			○	○
	羽田	○	○	○				○		
中部	新潟	○	○							
	富山きととき		○							
	小松		○							
	信州まつもと	○					○			
近畿	中部	○		○			○			
	伊丹・関西	○	○			○			○	
	神戸		○	○				○		
中国	岡山		運休							
	広島	○	○							
	出雲縁結び	※								
四国	徳島阿波おどり	※								
	松山									
九州	福岡	○	○			○		○		
沖縄	那覇			○						

注：航空会社欄のADOはエア・ドゥ、ANAは全日本空輸、APJはピーチ・アビエーション、FDAはフジドリームエアラインズ、IBXはアイベックスエアラインズ、JALは日本航空、JJPはジェットスター・ジャパン、SKYはスカイマーク、SJOはスプリング ジャパンを示す

出典：新千歳空港HP <https://www.new-chitose-airport.jp/ja/> 2022年6月30日アクセス(共同運航含む)

国際航空路線（新千歳空港発着）

国際就航都市数は最大級

- 新千歳空港は、10カ国21都市と就航しており、那覇空港や福岡空港よりも国数・都市数で上回っています。
- 2019年12月に17年ぶりとなるヨーロッパ直行の定期便（ヘルシンキ国際空港線、FINAIR）が就航となりました。また、アジア圏のインバウンド需要拡大を受けて、中国や韓国の便数が大幅に増加しています。

国	就航都市	国	就航都市
中国	北京	韓国	釜山
	天津		大邱
	上海		ソウル
	青島	台湾	台北
	南京		高雄
	杭州	シンガポール	シンガポール
	成都	マレーシア	クアラルンプール
	無錫	タイ	バンコク
	廈門	フィリピン	マニラ
	香港	香港	フィンランド
		ロシア	ユジノサハリンスク



出典：新千歳空港HP <https://www.new-chitose-airport.jp/ja/> 2022年6月30日アクセス(共同運航含む)

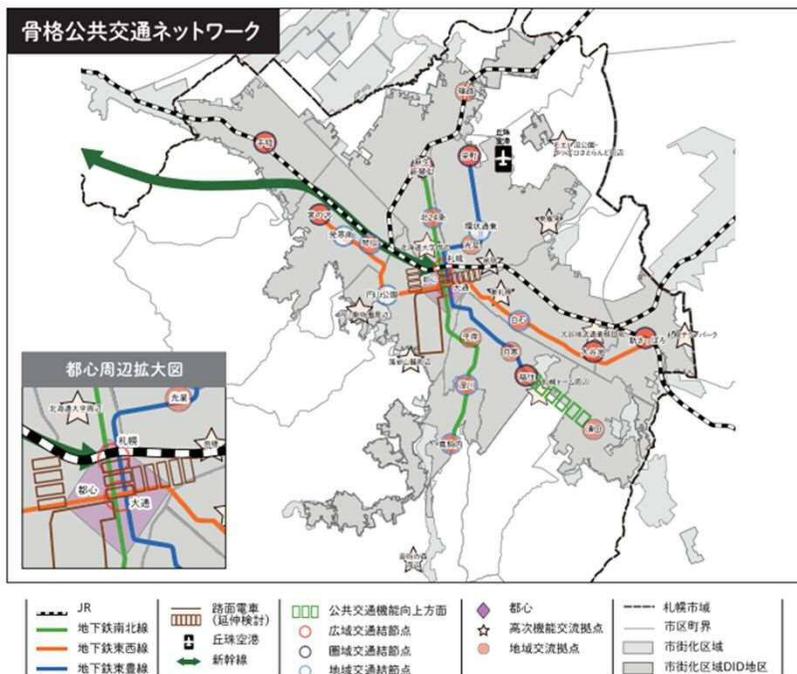
III 札幌観光の現状②（観光インフラ）

2. 交通インフラ

二次交通

観光客向けの二次交通としては利便性が悪い

- 札幌市は、人口200万人の生活を支える都市インフラとして、JR・地下鉄・バスが整備されています。
- 一方で、観光客を対象とした満足度調査からは、二次交通に対する不満が見られます。札幌市の二次交通は生活用であり、観光施設間を移動するなど観光客にとって利便性の高い二次交通となっていないことが要因だと考えられます。



出典：札幌市「札幌市総合交通計画」

各都市への移動手段、所要時間

道外は航空機、道内はJR・バスと移動手段はあるが天候リスクが高い

- 道外との移動手段は航空機に大きく依存しており、年度末や年末年始、長期休暇時は航空チケット代が高くなり観光客への負担が大きくなります。また、天候が悪いと発着できない可能性があり、来札リスクを感じている観光客も多いと考えられます。
- 道内都市との移動手段は複数ありますが、冬期間は航空機同様、大雪で移動できなくなるリスクがあります。

人気の周遊地	飛行機	JR	高速バス	レンタカー
小樽		40分(快速)	65分	50分
函館	40分	240分(特急)	320分	260分
千歳		40分(快速)		50分
旭川		90分(特急)	130分	120分
洞爺湖		120分(特急)	170分	120分
登別		80分(特急)	110分	100分
網走	50分	330分(特急)	360分	300分
阿寒	140分		360分	300分
二七〇		130分(快速)	170分	120分
富良野		120分(特急)	160分	120分

注：所要時間には乗換時間を含みません。また、レンタカーの所要時間は高速利用で、夏の場合の最短を想定しています。

III 札幌観光の現状②（観光インフラ）

3. 観光客受入環境

多言語対応

英語以外の多言語対応は全般的に不十分

- 英語表記や英語案内は進んでいますが、簡体字・繁体字・ハングルまで対応できている施設等は多くはありません。
- 来札外国人の多くを占める中国・韓国の方が不自由なく滞在できるためには、より一層の多言語対応が必要だと考えられます。

個別課題	主な対応状況
誘導・記名看板や案内・説明文への言語対応	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 英語併記は「一部併記」を含め80%程度の施設で実施しているが、簡体字・繁体字・ハングルの併記の状況はほぼ同じ傾向で、「一部併記」を含め、30%程度にとどまる
対面での言語対応	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 英語対応可能な施設は、宿泊施設では約80%、観光・スポーツ施設、飲食店、ショッピング施設では50%を超える ✓ 一方で、英語以外の言語の対応では、宿泊施設、観光・スポーツ施設、飲食店において、「対応できる」とした施設の割合は10%前後である
ホームページ多言語対応	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 英語は約30%が「全て対応済み」で「半数に対応」を含めると約50%である ✓ 簡体字・繁体字・ハングルは「全て対応済み」は約20%で、「半数に対応」を含めると約30%である

出典：札幌市調査

Wi-Fi環境

一定程度整備が進んでいるが更なる利便性向上が求められる

- 宿泊施設やショッピング施設では、対応が進んでいますが、周知や設定のしやすさなど、利便性の向上が求められています。

個別課題	主な対応状況
無料Wi-Fiの整備	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 宿泊施設で約87%、ショッピング施設で70%が「施設内すべてのエリアで利用可能」であり対応が進んでいる ✓ 一方で、観光・スポーツ施設、飲食店、交通機関の約30%の施設では無料Wi-Fiは導入されていない ✓ 外国人モニターより、無料Wi-Fiが整備されていてもその周知が不十分だったり、設定がうまくいかず使用できなかったとの指摘が多い

- 札幌市は、無料でインターネット接続が可能となる「Sapporo City Wi-Fi」を運用しており、現在は地下鉄駅（3路線16駅）、札幌コンベンションセンター、大通公園、円山動物園、札幌駅前通地下広場(チ・カ・ホ)、北3条広場(アカプラ)、定山溪温泉街エリア、札幌ドーム等においてサービスを提供しております。

出典：札幌市調査

III 札幌観光の現状②（観光インフラ）

3. 観光客受入環境

キャッシュレス対応

交通機関や観光・スポーツ施設で対応遅れが見られる

- ショッピングや飲食、宿泊施設では利用できる場所が多くなっています。
- 一方で、交通機関や観光・スポーツ施設で利用できない場所が多くあります。札幌市内には外貨両替場所が少ないため、キャッシュレス環境の整備を進める必要があります。

個別課題	主な対応状況
クレジットカード 決済対応	<ul style="list-style-type: none">✓ ショッピング施設では100%、宿泊施設では約99%、飲食店では約76%が対応している✓ 一方で、観光・スポーツ施設と交通機関は約50%の施設でクレジットカード決済に対応していない
モバイル 決済対応	<ul style="list-style-type: none">✓ モバイル決済に対応している割合が最も高かったのはショッピング施設で90%、次いで飲食店で73%である✓ 交通機関は、モバイル決済に対応している割合が約26%と最も低い✓ 宿泊施設、飲食店、ショッピング施設で「Alipay」を導入している施設が70%以上ある

III 札幌観光の現状②（観光インフラ）

3. 観光客受入環境

多様な文化・宗教への配慮

ハラル対応を実施している施設や、対応の必要性を感じている施設は少ない

- 多様な文化や宗教への配慮は、外国人観光客が滞在中に不便を感じないための重要性が高いものですが、対応できる市内事業者は限られています。

個別課題	主な対応状況
ベジタリアン料理の提供	✓ ベジタリアン料理の提供割合は、宿泊施設、飲食店で約20%、観光・スポーツ施設では提供している施設はない
特定アレルギー物質や食品内容についての表記	✓ 多言語表記やピクトグラム表記をしているのは、宿泊施設では約40%、観光・スポーツ施設では約16%、飲食店では少なく約3%にとどまる
ハラル対応	✓ ハラル対応をしている施設は少なく、宿泊施設で約8%、飲食店では約14%、観光・スポーツ施設ではなかった ✓ いずれの施設種別でも「提供する必要性を感じているがしていない」と回答した割合が顕著に高い
カトラリーの提供	✓ カトラリー（フォーク・スプーンなど）の提供については、宿泊施設、飲食店では約73%が提供しており、観光・スポーツ施設の中で未回答を除く半数以上がカトラリーの提供を実施している
トイレの洋式化	✓ トイレの洋式化は、宿泊施設、ショッピング施設では、「すべてのトイレに洋式トイレを設置している」が90%以上である ✓ 観光・スポーツ施設では約61%、交通機関では約37%と設置している割合は減少する傾向がみられる

出典：札幌市調査

SDGs対応

市内事業者のSDGsに対する意識は高まっているが取組は不十分

- SDGsの理解が進み何らかの取組を行っている事業者は一定数ありますが、まだ半数程度にとどまっています。
- 観光都市として、どのような取組が必要なのか具体的な取組を促す活動が必要だと考えられます。

個別課題	主な対応状況
SDGsへの取組意識	✓ 何らかの取組を行っている施設の割合は宿泊施設、観光・スポーツ施設、飲食店、交通機関で約半数、ショッピング施設ではやや低く25%程度、全体では約50%である ✓ 17項目中の割合の分布については施設種別ごとに大きな差は見られないが、交通機関では、「3.すべての人に健康と福祉を」「7.エネルギーをみんなにそしてクリーンに」「9.産業と技術革新の基盤をつくろう」「11.住み続けられるまちづくりを」など、事業に直接的な関わりのある項目で30%以上と高い割合である

出典：札幌市調査

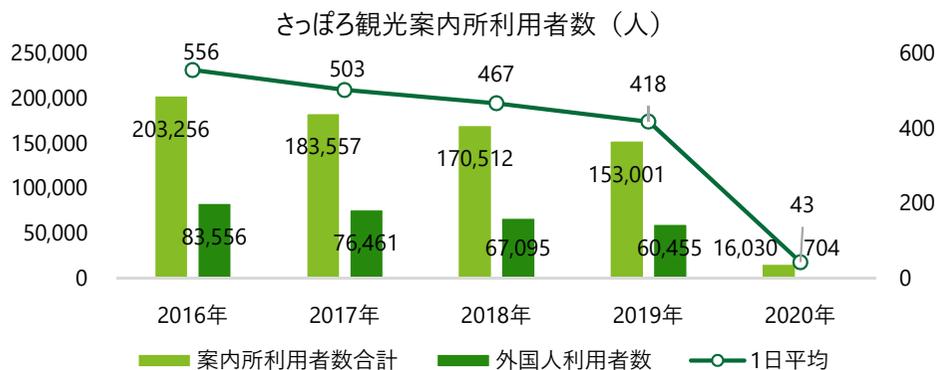
III 札幌観光の現状②（観光インフラ）

4. 情報発信

観光案内所

さっぽろ観光案内所の利用者数はコロナ以前から減少傾向

- 市内には、期間限定を含む5か所に札幌市観光・MICE推進部が運営管理する観光案内所がありますが、コロナ禍以前から利用者は減少傾向です。
- 市販の雑誌やSNS等のインターネット上での情報が充実しており、それをスマートフォンで利用できる環境となっていることが減少の要因の一つだと考えられます。



〔案内所一覧〕

名称	所在地	対応言語	開設期間
北海道さっぽろ観光案内所	札幌駅西コンコース	4言語（日、英、中、韓）	—
大通公園観光案内所	大通	1言語（日）	春～秋
定山溪観光案内所	定山溪温泉	2言語（日、英）	—
雪まつり観光案内所	大通	1言語（日）	雪まつり会期中
大通情報ステーション	大通駅コンコース	3言語（日、英、中）	—

出典：札幌市「札幌の観光」

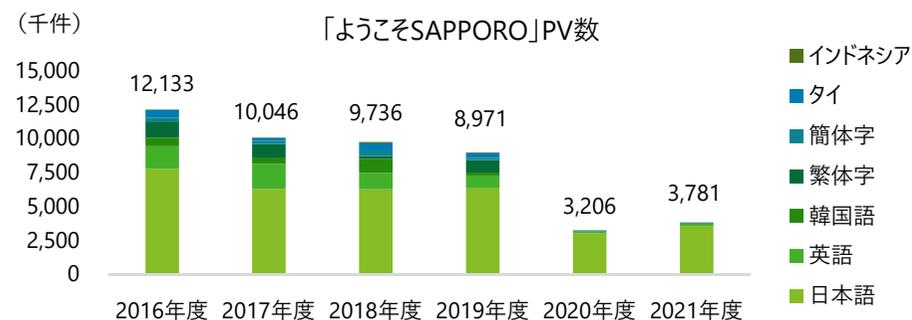
III 札幌観光の現状②（観光インフラ）

4. 情報発信

メディア・アプリ

公式ホームページ「ようこそSAPPORO」のPV数が減少傾向

- 「ようこそSAPPORO」のPV数がコロナ禍以前から減少傾向にあります。
- 一方で、来札幌観光客満足度調査では、観光客は民間企業が運営するホームページを利用している実態が確認できています。一定数いた利用者が減っている現状を踏まえると、公式サイトの内容、見やすさに課題があるものと考えられます。



出典：札幌市

〔観光情報の発信媒体一覧〕

名称（実施主体）	媒体	対応言語	備考
ようこそSAPPORO (札幌観光協会)	ウェブサイト	7言語（日、英、簡、繁、韓、泰、尼）	札幌観光の公式サイトとして、札幌の楽しみ方や、観光施設、グルメ、イベント、宿泊施設等の情報を発信
	Facebook	2言語（日、英）	
	YouTube	1言語（日）	
	Instagram	1言語（日）	
Visit Sapporo (札幌市国際観光誘致実行委員会)	ウェブサイト	7言語（英、独、仏、泰、簡、繁、韓）	海外向けの札幌観光公式サイトとして観光情報を発信
	Facebook	1言語（日）	
	Instagram	1言語（日）	
札幌いんふお (札幌市)	アプリ	6言語（日、英、簡、繁、韓、泰）	2022年3月21日をもってサービス終了
さっぽろグルメクーポン (札幌観光協会)	アプリ	4言語（日、英、簡、繁、）	札幌のおすすめグルメの情報発信とクーポン掲載
札幌市観光・MICE推進部公式ツイッター (札幌市)	Twitter	1言語（日）	札幌市役所からの観光情報発信 フォロワー数：約59,000人
SAPPORO NIGHT VIEW GUIDE (札幌夜景観光推進協議会)	ウェブサイト	3言語（日、英、繁）	札幌夜景に関する情報発信
サッポロナイトパッケージ (札幌商工会議所)	ウェブサイト	5言語（日、英、簡、繁、韓）	札幌の夜間観光に関する情報発信
定山溪観光協会公式サイト (定山溪観光協会)	ウェブサイト	5言語（日、英、簡、繁、韓）	定山溪エリアの観光施設、宿泊施設、イベント等の情報発信
	Twitter	1言語（日）	
	Facebook	1言語（日）	
すすきの観光協会オフィシャルサイト (すすきの観光協会)	ウェブサイト	1言語（日）	すすきのエリアの飲食店、イベント等の情報発信

都市の魅力・観光資源

IV 札幌観光の現状③（都市の魅力・観光資源）

1. 都市ブランド

都市の魅力・認知度

国内においては、札幌市の魅力度は全国トップ

- 認知度、魅力度、情報接触度、イメージなど地域ブランドに関する全89項目について、全国の消費者35,489人からの回答が調査され、札幌市は全国1,000市区町村のトップとなりました。

アジアでは観光地としての認知度は高いが、欧米豪ではアジアに比べると低い

- アジアおよび欧米豪の海外旅行経験者における北海道・札幌の認知度は、アジアにおいては、ゴールデンルート（東京、箱根、富士山、名古屋、京都、大阪）に次いでトップレベルにあります。
- 一方、欧米豪全体での認知度は、アジアに比べて低位にとどまっています。

Q. これらの観光地をご存知ですか

	全体		アジア		欧米豪	
	比率	順位	比率	順位	比率	順位
北海道	46	⑤	62	④	15	⑫
札幌	35	⑨	46	⑧	14	⑬
函館	15		21		3	
旭川/富良野	9		13		3	
帯広/十勝	5		7		2	
二世コ	4		5		3	
知床/阿寒	5		6		3	
東京	61	①	67	①	48	①
富士山	55	②	64	②	38	②
大阪	52	③	63	③	32	③
京都	50	④	60	⑤	30	⑤
沖縄	40	⑥	50	⑥	22	⑦
九州	27	⑭	38	⑫	7	⑱

出典：①ブランド総合研究所「地域ブランド調査2021」

出典：②DBJ・JTBF アジア・欧米豪 北海道観光に関する訪日外国人旅行者の意向調査（第3回）

その他

オリンピック都市のレガシー

- 1972年2月に開催された札幌オリンピック（第11回冬季オリンピック大会）から今年でちょうど50年。オリンピックの開催を大きな契機として、競技関連施設が建設されたほか、交通・通信設備や都市環境の整備がすすめられました。
- また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（東京2020大会）では、陸上競技（マラソン/競歩）が札幌大通公園および市内中心部で、サッカー競技が札幌ドームで開催されました。

日本の都市初のLEED for Cities and Communitiesプラチナ認証

- 2008年6月に世界に誇れる環境都市を目指す「環境首都・札幌」宣言を行いました。
- 2018年6月、内閣府が開始した「SDGs未来都市」の初めての選定で、札幌市が選ばれました。また、2020年1月には、日本の都市では初のLEED for Cities and Communitiesで最高ランクのプラチナ認証を取得しました。

市民の観光意識

今後実施予定

IV 札幌観光の現状③（都市の魅力・観光資源）

2. 自然・都市環境

自然環境

四季の移り変わりを感じられる自然に近い都市

〔雪降る大都会〕

- 人口1,973,845人（2022年6月1日現在）。世界に知られる大都市と同クラスの人口規模（フランス・パリ220万人、ドイツ・ハンブルグ170万人、スペイン・バルセロナ160万人、オーストリア・ウィーン160万人など）であり、年間6mもの雪が降る人口190万都市は札幌市のみとなっています。

〔豊かで多様な自然との近接性（緑、山、海など）〕

- 札幌の6割以上が森林面積で、市内に天然記念物の藻岩・円山原生林があり、多様な野生動物が生存しています。
- 水源の森百選に選ばれた奥定山溪国有林水源と札幌水道水の98%をまかなう豊平川による豊かな水資源があります。

〔ストレスフリーな居住環境〕

- アレルギーフリー（スギ花粉が少ない）や梅雨がないこと、夏が涼しい等から過ごしやすというヒアリング結果があります。

パウダースノーを楽しめる世界で稀な大都市

- 市内には札幌中心部から車で60分以内の範囲に6つのスキー場を有しており、パウダースノーでのスノーアクティビティを楽しむことが出来る世界でも稀な大都市です。

都市環境

政令市一の公園、過ごしやすい居住環境に恵まれる

〔明示時代の歴史的建造物〕

- 開拓使や屯田兵など札幌を特徴づける歴史を語る文化財（国指定重要文化財等7箇所、道指定有権文化財2箇所、市指定有形文化財3箇所）があります。

〔気候と歴史に由来する都市景観〕

- 計画的に整備された碁盤の目状の広い街路等
- 眺望の良い展望台（藻岩山ロープウェイ、羊ヶ丘展望台、旭山記念公園、大倉山）

〔政令市一の多彩な公園〕

- 政令市一の公園数（2,669）を誇る緑、花、アートなどが楽しめる多彩な公園（大通公園、中島公園、円山公園、モエレ沼公園、前田森林公園、百合が原公園など）があります。

IV 札幌観光の現状③（都市の魅力・観光資源）

3. 観光資源

観光資源

食に対する期待が高く、満足度も高い

- ラーメンや寿司、ジンギスカンなど札幌には、観光客の札幌滞在中の目的や楽しみとなっている食の魅力が高い。観光客の8割以上が満足しています。

定番スポットから、スポーツ施設・文化施設など多種・多様な観光資源が存在

- 時計台や大通公園など多くの観光客が訪問する定番スポットから、市民も楽しむスポーツ施設や文化施設、歴史など多種多様な観光資源を有しています。

大都市ならではの夜間観光

- すずきには、約3,000以上の飲食店やエンターテインメントの商業施設があり、ナイトタイムエコノミーを楽しむことが可能です。
- 標高531mの藻岩山をはじめ、大倉山、JRタワー、旭山記念公園、さっぽろテレビ塔など、様々な高さから、大都市の夜景を楽しめる視点場が多く、新日本3大夜景に認定されています。

〔主な観光資源〕

カテゴリー	名称	カテゴリー	名称	
観光スポット	大通公園	眺望	藻岩山	
	時計台		旭山記念公園	
	さっぽろテレビ塔		JRタワー展望室	
	温泉	北海道旧本庁舎	歴史・文化・芸術	北海道大学
		円山動物園		千歳鶴酒ミュージアム
		ノースサファリサッポロ		札幌市資料館
		さとらんど		北海道立近代美術館
		白い恋人パーク		北海道開拓の村
スポーツ	定山溪温泉	北海道博物館		
	羊ヶ丘展望台	札幌芸術の森		
	モエレ沼公園	札幌市アイヌ文化交流センター（ピリカコタン）		
	札幌ドーム	頭大仏（滝野霊園）		
	きたえる	食	ラーメン横丁	
	大倉山ジャンプ競技場		二条市場	
	オリンピックミュージアム		中央卸売市場場外市場	
狸小路	サッポロビール園			
繁華街・商業施設	すすきの	サッポロビール博物館		
	ステラプレイス			
	サッポロファクトリー			

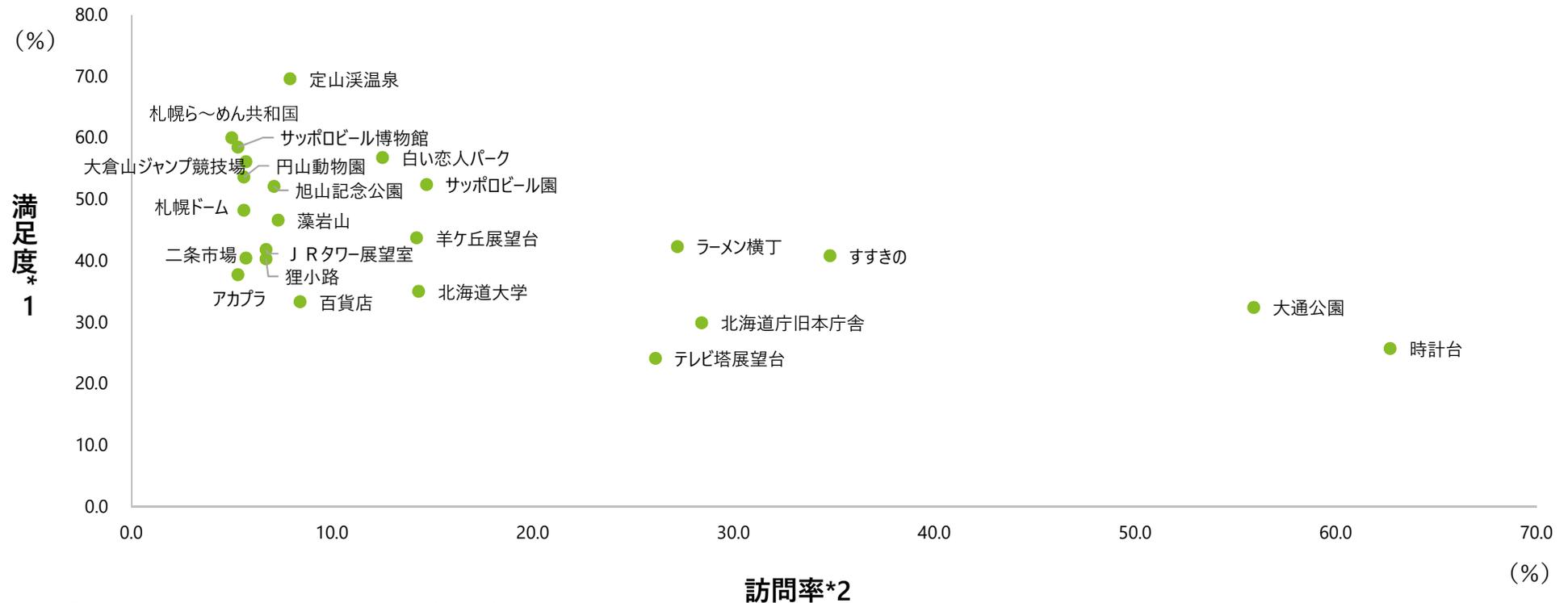
IV 札幌観光の現状③（都市の魅力・観光資源）

3. 観光資源

観光スポット等の満足度と訪問率

日本人観光客の満足度が高い観光スポットは、観光客の訪問率が低い

- 定山溪温泉や札幌ら〜めん共和国など、満足度が高い場所は、訪問率が10%を切っています。
- 一方で、大通公園や時計台など、訪問率が高い場所は、満足度が50%を切っています。



*1 訪問した場所について、「満足」「まあ満足」「やや不満」「不満」「わからない」のうち、「満足」の回答割合

*2 訪問した場所（複数回答あり）